

## 地方感染症情報センター・地方衛生研究所の立場からの 感染症発生動向調査の評価と改善

研究分担者 中村 廣志 神奈川県衛生研究所 企画情報部

### 研究要旨

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」（1999年4月施行）から、「結核予防法」を統合（2007年4月1日）、新たな感染症（鳥インフルエンザ（H7N9）及び中東呼吸器症候群（MERS））の2類感染症への追加（2015年1月21日）などの改定を行い、2016年4月1日には、感染症に関する情報の収集体制（全ての感染症の患者等に対し検体の採取等に応じること）を強化するための一部改正が行われたことにより、地方感染症情報センターの立場から感染症発生動向調査の評価と改善をはかる必要が生じた。

地方感染症情報センターとして、平常時から感染症に関する情報を収集し、分析を行って感染症を発生状況や原因に関する情報、予防に必要な情報を積極的に公表するための方策を強く求められている。

感染症法の主要な柱の1つに、感染症発生動向調査があり、その役割を担う地方感染症情報センターは、都道府県、政令指定都市等の地方衛生研究所にその多くが設置されているが、情報の収集力には大きな差があるため、2006年からは全国レベルで、情報を一元的に管理する感染症サーベイランスシステム（NESID）の運用が開始され、還元データを利用した感染症情報の解析、提供が容易となったことから、地域をはじめ全国の感染症対策に大きな役割を果たしており、2018年3月には新しいNESIDへの移行・更改が行われる。

また、情報発信ツールとして、研究班が主体となり、地方感染症情報センターにおける患者情報集計、解析業務を支援する情報ツールの開発を行った。また、感染症情報センターのより一層の機能強化、連携の推進を図るため関連会議を開催した。

### 研究協力者

高橋智恵子	神奈川県衛生研究所	森屋 一雄	佐賀県唐津保健福祉事務所
片山 丘	神奈川県衛生研究所	蔡 国喜	長崎県環境保健研究センター
中野 道晴	北海道立衛生研究所	岸本 剛	埼玉県衛生研究所
市橋 大山	北海道立衛生研究所	篠原美千代	埼玉県衛生研究所
林 志直	東京都健康安全研究センター	内田 和江	埼玉県衛生研究所
神谷 信行	感染症サーベイランス情報ネットワーク研究会	山田 文也	埼玉県衛生研究所
鈴木 智之	滋賀県衛生科学センター	貞升 健志	東京都健康安全研究センター
児玉 洋江	石川県保健環境センター	安井 善宏	愛知県衛生研究所
三崎 貴子	川崎市健康福祉局健康安全研究所	三好 龍也	堺市衛生研究所
丸山 絢	川崎市健康福祉局健康安全研究所	森 愛	神戸市環境保健研究所
小野塚大介	九州大学大学院医学研究院	濱野 雅子	岡山県環境保健センター
		山下 育孝	愛媛県立衛生環境研究所
		中村 麻子	福岡県保健環境研究所

井野由莉恵 川崎市保健所  
坂田 恭平 越谷市保健所  
仲田 貴 さいたま市健康科学研究センター  
木下 一美 国立感染症研究所感染症疫学センター  
加納 和彦 国立感染症研究所感染症疫学センター  
調 恒明 山口県環境保健センター

## A. 研究目的

感染症法の主要な柱である感染症発生動向調査は患者の発生状況、病原体検査情報などを迅速に把握することによって、感染症の予防と拡大防止を図るとともに、住民や医療機関等に正確な情報を的確に提供することを目的としている。

これらの情報を一元的に効率よく収集し、必要に応じて解析するための情報ネットワークシステムとして、保健所、地方感染症情報センター、地方衛生研究所、中央感染症情報センターを結ぶ「感染症サーベイランスシステム（NESID）」が構築されている本システムのデータベースは中央感染症情報センターで一元的に管理され、還元情報の利用や情報共有が進み、効率的な事業運営や各地方感染症情報センターの機能強化、情報連携等に大きな成果をあげている。

地方感染症情報センターの情報解析機能や情報提供機能も大きく充実してきているが、職員定数や専任職員の配置等の問題をかかえ十分にその機能を発揮できない機関も多く見受けられる。

本研究では地方感染症情報センターの情報解析機能や情報提供機能の強化のための新たな取り組みについて検討する。

## B. 研究方法

### 関連会議の開催

#### 第75回公衆衛生学会自由集会

一昨年の麻しんやデング熱の流行に引き続き、昨年は南米でのジカウイルス感染症の脅威が見られた。

海外では現在でもエボラウイルス病などの流行が広がっており、感染症に係わる新たな課題が次々と浮上している。

現在、海外で流行している感染症の国内への侵入の可能性も考えられることから、常日頃からの

感染症への取り組みが重要となっており、感染症情報センターの効率化と機能アップが求められている。

一方、情報ネットワークの充実が急速に進み感染症情報への関心も高まっている。

この自由集会では、地域の感染症の流行状況を把握し、地域の住民や保健医療関係者に情報を提供している地方感染症情報センターおよび保健所等において感染症情報がどのように活用されているのかを紹介するとともに、今後の地方感染症情報センター、保健所の連携のあり方についても議論を行った。(資料)

## C. 研究結果

### 第75回公衆衛生学会自由集会

#### ①感染症法改正と病原体サーベイランスについて 埼玉県衛生研究所

副所長 岸本 剛

- ・平成26年11月に「感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律」が公布され、感染症に関する情報の収集体制の強化を目的として、「検体検査の質の向上を図るため、知事等が入手した検体について、知事等による検査の実施、検査基準の策定」の規定が設けられ、平成28年4月1日に完全施行された。
- ・国と自治体は、感染症病原体検査を実施し、情報を収集し、解析をする法定事業の体制構築を行う必要が生じた。
- ・結果として、患者サーベイランスと併せて社会ニーズにあった構築運営し各地域の状況を把握していくことが重要と思われる。

#### ②感染症発生動向調査週報へのアクセス数による 感染症情報の需要評価

滋賀県衛生科学センター

健康科学情報係 鈴木智之

- ・検索エンジンにおけるキーワードの検索数等により、感染症の発生動向を早期探知できる可能性が示されており、インターネットを介した情報収集は、人々の関心対象、関心程度および関心がある時期等を反映していると考えられる。
- ・滋賀県ホームページに掲載した感染症発生動

向調査週報へのアクセス数を用いて感染症情報の需要を評価し、週報の掲載内容および情報提供方法を検討した。

### ③感染症対策における川崎市保健所の取り組み

－関連機関との連携－

川崎市健康福祉局

保健所担当 林 露子

保健所と健康安全研究所の連携による取り組みとしては、

①市民・医療機関に向けた情報発信

②医療機関へ最新の情報提供

③感染症担当職員の人材育成

④医療機関との連携強化

⑤感染症事例に関する情報共有

⑥感染症事例への対応

などの対応を行っている。

感染源の特定、診断・治療・患者の病状、感染拡大の有無などの情報を共有して、保健所と健康安全研究所が連携している。

### ④気象変動による感染症等の健康影響

九州大学大学院

医学研究医療コミュニケーション学分野

小野塚 大介

気候変動による地球規模での影響についての世界的に関心の高まりがある。

- ・人間の健康に対する影響として、熱波・洪水・干ばつによる罹患・死亡率の増加、感染症媒介動物の分布変化、栄養不良、下痢、循環器・呼吸器疾患、感染症の増加などが指摘されており、気候変動による健康影響の解明は、世界的にも喫緊の課題となっている。
- ・日本においても、地域的な気象変化や世界的な気候変動が感染症の発生と関係があることや、疾患や地域によって影響に違いがみられることが、近年の研究で明らかとなった。
- ・今後、気候変動という国境を越えたグローバルな課題に対して、地球レベルでの健康影響をより正確に推定していくことが非常に重要である。

## D. 考察

関連会議の開催

### 第75回公衆衛生学会自由集会

地域の感染症の流行状況を把握している地方感染症情報センター、保健所及び大学の立場より討論を行い、情報がどのように活用されているかの事例として、地方感染症情報センターの立場より「感染症法改正と病原体サーベイランスについて(埼玉県)」、「感染症発生動向調査週報へのアクセス数による感染症情報の需要評価(滋賀県)」、保健所の立場より「感染症対策における川崎市保健所の取り組み－関連機関との連携－(川崎市)」、大学の立場より「気象変動による感染症等の健康影響(九州大学大学院)」が紹介された。

現在、地方感染症情報センター、保健所及び大学で、どのように感染症情報が活用されているのかを紹介し、課題や今後の展望について議論を行った。

地方感染症情報センター、保健所と大学の担当者が同一のセッションを通して情報交換を行い、地域の状況や課題について議論を行う機会は非常に少ないのが現状である。

本自由集会では、地方感染症情報センター、保健所と大学における感染症情報の利用方法、情報共有についてそれぞれの立場から率直な意見交換、課題の認識ができた。

## E. 健康危機情報

なし

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 三崎貴子. 地域におけるサーベイランス, 小児と感染症－この10年間のアップデート(小児科5月臨時増刊号) Vol. 57 No. 6 2016: p29-37 (p549-557).
- 2) 大嶋孝弘, 丸山 絢, 三崎貴子, 岡部信彦. 川崎市における梅毒の発生状況－過去10年間の動向と近年の特徴について－日本性感染症学会誌Vol. 27, No.1 2016: p127-133.
- 3) 鈴木智之, 村上啓雄. 医療関連感染対策の経済学的評価. 感染対策 NEWS 2016. 4: 3-5.
- 4) 調 恒明. 地域保健法体制下の地方衛生研究

- 所の現状, 課題と未来像, 公衆衛生, 2016, 80, 1, 37-42
- 5) 調 恒明. 地方衛生研究所によるエンテロウイルスD68感染症流行の把握, 臨床とウイルス, 2016, 44, 4, 156-159
  - 6) Kobayashi M, Matsushima Y, Motoya T, Sakon N, Shigemoto N, Okamoto-Nakagawa R, Nishimura K, Yamashita Y, Kuroda M, Saruki N, Ryo A, Saraya T, Morita Y, Shirabe K, Ishikawa M, Takahashi T, Shinomiya H, Okabe N, Nagasawa K, Suzuki Y, Katayama K, Kimura H. Molecular evolution of the capsid gene in human norovirus genotype II. *Sci Rep.* 2016 Jul 7; 6: 29400.
  - 7) Okamoto K, Mori Y, Komagome R, Nagano H, Miyoshi M, Okano M, Aoki Y, Ogura A, Hotta C, Ogawa T, Saikusa M, Kodama H, Yasui Y, Minagawa H, Kurata T, Kanbayashi D, Kase T, Murata S, Shirabe K, Hamasaki M, Kato T, Otsuki N, Sakata M, Komase K, Takeda M. Evaluation of sensitivity of TaqMan RT-PCR for rubella virus detection in clinical specimens. *J Clin Virol.* 2016 Jul; 80: 98-101.
  - 8) Suzuki Y, Doan YH, Kimura H, Shinomiya H, Shirabe K, Katayama K. Predicting genotype compositions in norovirus seasons in Japan. *Microbiol Immunol.* 2016 Jun; 60 (6): 418-26.
  - 9) Doan YH, Haga K, Fujimoto A, Fujii Y, Takai-Todaka R, Oka T, Kimura H, Yoshizumi S, Shigemoto N, Okamoto-Nakagawa R, Shirabe K, Shinomiya H, Sakon N, Katayama K. Genetic analysis of human rotavirus C: The appearance of Indian-Bangladeshi strain in Far East Asian countries. *Infect Genet Evol.* 2016 Jul; 41: 160-73.
  - 10) Kawase J, Etoh Y, Ikeda T, Yamaguchi K, Watahiki M, Shima T, Kameyama M, Horikawa K, Fukushima H, Goto R, Shirabe K. An Improved Multiplex Real-Time SYBR Green PCR Assay for Analysis of 24 Target Genes from 16 Bacterial Species in Fecal DNA Samples from Patients with Foodborne Illnesses. *Jpn J Infect Dis.* 2016 May 20; 69 (3): 191-201.
2. 学会発表
- 1) 川崎市におけるE型肝炎発生状況, 池田史朗, 新田礼子, 丸山 絢, 三崎貴子, 岡部信彦. 第62回神奈川県公衆衛生学会 (2016年)
  - 2) 鈴木智之, 井上英耶, 小嶋美穂子, 井下英二, 苗村光廣. 感染症週報へのアクセス数を用いた感染症情報の需要評価. 第47回滋賀県公衆衛生学会 (2017)
- G. 知的財産権の出願・登録状況**  
なし



【資料】

第75回日本公衆衛生学会総会自由集会  
「感染症情報の現状と展望を考える会」

日時：平成28年10月27日(木)18:00～20:00

場所：新梅田研修センター 本館 6F 602号室

司会：神奈川県衛生研究所 中村廣志

感染症情報の収集と発信のために

【目的】

昨年は関東を中心としたデング熱の流行が見られた。今年も、海外ではジカ熱など、国内では麻しんの流行が広がっており、感染症に係わる新たな課題が次々と浮上している。海外で流行している感染症の国内への侵入の可能性も考えられることから、常日頃からの感染症への取り組みが重要となっており、感染症情報センターの効率化と機能アップが求められている。

一方、情報ネットワークの充実が急速に進み感染症情報への関心も高まっている。

この自由集会では、地域の感染症の流行状況を把握し、地域の住民や保健医療関係者に情報を提供している地方感染症情報センターおよび保健所等において感染症情報がどのように活用されているのかを紹介するとともに、今後の地方感染症情報センター、保健所の連携のありかたについても議論することを目的とする。

【情報提供】

1. 地方感染症情報センターの取り組み

1) 感染症法改正と病原体サーベイランスについて

埼玉県衛生研究所 副所長 岸本 剛 先生

2) 感染症発生動向調査週報へのアクセス数による感染症情報の需要評価

滋賀県衛生科学センター 健康科学情報係 鈴木智之 先生

2. 保健所の取り組み

感染症対策における川崎市保健所の取り組み – 関連機関との連携 –

川崎市健康福祉局 保健所担当部長 林 露子 先生

3. 大学からの取り組み

気候変動による感染症等の健康影響

九州大学大学院医学研究院 医療コミュニケーション学分野 小野塚大介 先生

世話人 中野道晴 北海道立衛生研究所

高橋智恵子・片山 丘 神奈川県衛生研究所

神谷信行 感染症サーベイランス情報ネットワーク研究会

【主催】

厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)

新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究

研究代表者 松井珠乃(国立感染症研究所感染症疫学センター 第一室長)

研究分担者 中村廣志(神奈川県衛生研究所 企画情報部長)

## 地方感染症情報センターの立場からの感染症発生動向調査の評価と改善 地方感染症情報センターの情報提供

研究分担者	中村 廣志	神奈川県衛生研究所
研究協力者	神谷 信行	感染症サーベイランス情報ネットワーク研究会
	中野 道晴	北海道立衛生研究所
	市橋 大山	北海道立衛生研究所
	丸山 絢	川崎市健康安全研究所
	林 志直	東京都健康安全研究センター
	小野塚 大介	九州大学大学院医学研究院

### 研究要旨

2006年に全国レベルで感染症発生動向調査情報を一元的に管理する感染症サーベイランスシステム（NESID）の運用が開始されてから11年が経過しようとしている。NESID還元情報を利用した感染症情報の解析、提供が容易となったことから、地方感染症情報センターにおける情報の分析、提供や保健所の支援などの機能強化が進み、組織の認知度も向上した。現在、地方感染症情報センターは地域をはじめ全国の感染症対策に大きな役割を果たしている。

一方、地域の住民や医療、教育関係者、公衆衛生分野の研究者が収集された情報を利用するための情報提供基盤は十分に整備されているとは言えない状況にある。また、地方感染症情報センターが開設するホームページでは当該自治体の情報のみが提供されることから、近隣自治体の情報を包括的に俯瞰することができない。本研究では近隣自治体の情報を一覧できるホームページを作成しその効用を検証するとともに、一般利用者へ向けた情報提供の現状について調査を行った。

### A. 研究目的

感染症法の主要な柱である感染症発生動向調査は患者の発生状況、病原体検査情報などを迅速に把握することによって、感染症の予防と拡大防止を図るとともに、住民や医療機関等に正確な情報を的確に提供することを目的としている。これらの情報を一元的に効率よく収集し、必要に応じて解析するための情報ネットワークシステムとして、保健所、地方感染症情報センター、地方衛生研究所、中央感染症情報センターを結ぶ「感染症サーベイランスシステム（NESID）」が構築されている。本システムのデータベースは中央感染症情報センター（国立感染症研究所）で一元的に管理され、還元情報の利用や情報共有が進み、効率的な事業運営や各地方感染症情報センターの機能強化、情報連携等に大きな成果をあげている。

しかし、地域の医療福祉関係者、公衆衛生分野の研究者などの一般の利用者がNESIDに集積された感染症情報を利用するための情報還元の仕組みは、未だに十分とは言いきれない。また、地方感染症情報センターが開設するホームページでは当該自治体の情報のみが提供されることから、近隣自治体の情報を包括的に俯瞰することができない。本研究では一般利用者へ向けた情報提供の現状と近隣自治体の情報を一覧できるホームページを作成し、効果的な情報提供の取り組みについて検討する。

### B. 研究方法

#### 1. ホームページの作成

感染症対策を行う上で隣接する地域の状況を迅速かつ的確に把握することは重要である。現在、

感染症情報は原則として各自治体単位で集計、公開されており、隣接地域の情報を閲覧する場合は各地方感染症情報センターのホームページを個別に参照して情報を収集する必要がある。

そこで、2015年度に引き続き首都圏1都5県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、山梨県）の患者報告数が一覧できるホームページを感染症サーベイランス情報ネットワーク研究会が運用を行っているWebサイト（<http://www.idsi-net.org/>）上で公開した。

インフルエンザでは定点当たり患者報告数推移を折れ線グラフと表で表示した。また、独自のデータ分析ができるようにCSV形式でのファイルダウンロード機能を用意した。

病原体検出情報は型別の検出割合を都県別に棒グラフで、検出件数を表で表示した。

## 2. 一般利用者へ向けた情報提供の現状

地域の住民をはじめ医療者、福祉、学校関係者が感染症発生動向調査で収集された詳細な情報を利用するためには各地方感染症情報センターから主にホームページを通して提供される情報を入手することとなる。

そこで、各地方感染症情報センターのホームページで提供されている情報の項目、媒体、掲載時期等について茨城県、栃木県を含めた1都7県の状況を調査した。

## C. 研究結果

### 1. ホームページの作成

1都5県のインフルエンザ患者報告数の折れ線グラフと表が単一のWebページで表示されることで、隣接地域の情報の比較がより一層しやすくなった。

インフルエンザで定点当たり患者報告数推移を2016年36週から2017年4週まで折れ線グラフと表で表示した。（図1）。また、独自のデータ分析ができるようにCSV形式でのファイルダウンロード機能を用意した。

病原体検出情報は型別の検出割合を都県別に棒グラフで表示した（図2）。

2016-2017年シーズンの流行状況をみると、患者報告数が流行開始の目安となる1.0人/定点を超えたのは2016年45~46週で例年より早く流行が

始まった。注意報レベルの基準である10人/定点を超えたのは千葉県、山梨県を除いた1都3県が2016年51週、千葉県、山梨県が2週遅れとなる2017年1週であった。神奈川県、埼玉県、千葉県、山梨県は第3週で、東京都、群馬県は第4週で警報レベルの基準となる30人/定点を超えた。第4週では埼玉県、千葉県で50人/定点を超え、神奈川県でも50人/定点をわずかに下回る数の患者報告があり2017年に入り大きく増加している。このように、各都県の流行開始時期や注意報レベル、警報レベルに達した時期等が容易に比較することができる。

一方、折れ線グラフは各都県の情報が近似していると重なって見づらくなることから、見やすさを考えると5~6か所の自治体の表示が限界であろう。

感染性胃腸炎、RSウイルス感染症についても同様のページを作成した。

インフルエンザウイルスの型別検出割合はA(H3)が90%以上であり、A(H1)pdm09、Bは非常に少ない割合となっている。

### 2. 一般利用者へ向けた情報提供の現状

調査結果を表1に示した。週単位の情報はHTML形式のページとして公開されており毎週、調査週翌週の水曜日~金曜日に更新されている。一方、過去の情報が参照できるように東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県は「週報」PDF形式のファイルとして掲載されている。群馬県、山梨県は毎週更新されるHTMLページでの提供であった。なお、群馬県は全数把握対象疾患と注目される定点把握対象の5疾患がPDFで提供されており、一部ではあるが過去の情報を参照することができる。

保健所別患者報告数は山梨県を除く6都県で提供されていたが、千葉県は患者数のみで定点当たり患者数の提供はなかった。

年齢別患者報告数は山梨県を除く6都県で提供されていた。神奈川県で患者数、定点当たり患者数ともに提供されていたが、他の1都5県は患者数のみの提供であった。

過去の情報は埼玉県が最も古く1999年以降の情報が掲載されており、以下、東京都（2000年）、神奈川県（2001年）、栃木県（2003年）、茨城県

(2008年)、千葉県(2012年)が掲載されているが、群馬県は当該週と前週、山梨県は当該週と過去3週のための提供にとどまり情報を利用するうえでの制約となっている。

情報を利用する場合にはPDFファイルではなく数値データとしてダウンロードすることができれば利用者にとっては有用となる。

埼玉県では1994年以降、茨城県では2009年以降のデータが表計算ソフト、統計ソフトで利用可能なCSV形式のファイルで提供されている。東京都では2000年以降のデータがデータベースで提供されており、利用者が期間や疾患名等の検索条件を指定することで、CSV形式でダウンロードすることが可能となっている。

#### D. 考察

感染症発生動向調査で集計した情報は各地方感染症情報センターが感染症週報として公開している。この情報を利用しようとする場合には、それぞれの地方感染症情報センターのホームページ等から取得する必要がある。また、その後の患者報告数の追加、修正をホームページで公開することはほとんど行われておらず、NESIDを利用できる関係者以外の利用者は、翌年に公開される感染症発生動向調査事業報告書(年報)まで情報の入手を待たなくてはならない。また、一部の自治体では年報がホームページで公開されていない。

一方、国立感染症研究所からは全国の情報がホームページで公開されるが、公開日が調査対象の翌々週となり、地方感染症情報センターの公開日から4~6日程度遅くなっている。また、各地方感染症情報センターの公開と同様に、その後の患者報告数の追加、修正を随時、ホームページで公開することは行われていない。後年、公開される感染症発生動向調査事業報告書(年報)を待つ必要がある。

世の中には大量のデータが流通しており自由に利用できるデータはオープンデータと呼ばれ、なかでも、厚生労働省、国立感染症研究所をはじめ国の各機関や地方公共団体が公開する様々なデータは住民の生活に密に関連し、非常に公共性の高い情報である。感染症情報もその1つであり感染症発生動向調査に携わっている関係者だけでな

く、感染症に注目している多くの人々がそれぞれの立場で独自に分析し、提供していくようになると思われる。

これらの情報を再利用可能なフォーマットで、誰でもが閲覧できる様にホームページ上に掲載されることが重要である。この様な利用に対応するためには、現在のCSV形式のファイル提供ではなく、公開可能な情報をデータベース化し、ユーザが必要に応じて疾患などの関連する情報を入力することで、必要な情報をダウンロードできるシステムの構築や、表、グラフ、地図等が簡便に表示されるページの提供が有効である。

NESIDでは追加、修正済みの最新情報が随時、データベースからダウンロード可能となっており、公開可能なデータであれば、誰もがデータベースからダウンロードできる環境の構築が望まれる。

京都感染症情報センター(WEB感染症発生動向調査<sup>1)</sup>)や川崎市感染症情報センター(川崎市感染症情報発信システム<sup>2)</sup>)のWebサイトで提供されているページが1つのモデルとなると思われる(図3-4)。

#### E. 健康危機情報

なし

#### F. 参考文献

- 1) 東京都健康安全研究センター研究年報, 54, 376-380, 2003, 神谷信行, 池田一夫, 灘岡陽子, 服部絹代, 廣門雅子, 関根大正. 感染症発生動向調査情報のインターネットを利用した提供システムの開発  
<http://www.tokyo-eiken.go.jp/assets/issue/journal/2003/pdf/54-70.pdf>  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/epimenu.do>
- 2) 小児科, 56(12), 1933-1943, 2015.11, 丸山 絢, 大嶋孝弘, 三崎貴子, 岡部信彦. 川崎市における感染症情報発信システム(KIDSS)の導入とその後の取り組み  
<https://kidss.city.kawasaki.jp/ja/modules/topics/>



G. 研究発表  
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況  
なし

表1. 週報のホームページへの掲載状況

	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	群馬県	山梨県	茨城県	栃木県
形式	PDF	PDF	PDF	PDF	HTML (一部PDF)	HTML	PDF	PDF
保健所別	○	○	○	△	○	×	○	○
年齢別	△	○	△	△	△	×	△	○
過去情報	2000年～	2001年～	1999年～	2012年～	当該週・前週	当該週・過去4週	2008年～	2003年～
その他			CSV 1994～ 2014年				CSV 2009年～	

○:患者報告数および定点あたり患者報告数を掲載

△:患者報告数のみを掲載

×:ホームページへの掲載なし

1. 首都圏のインフルエンザ流行状況(患者報告数)

週単位の定点(1医療機関)あたり患者報告数(単位:人/定点)

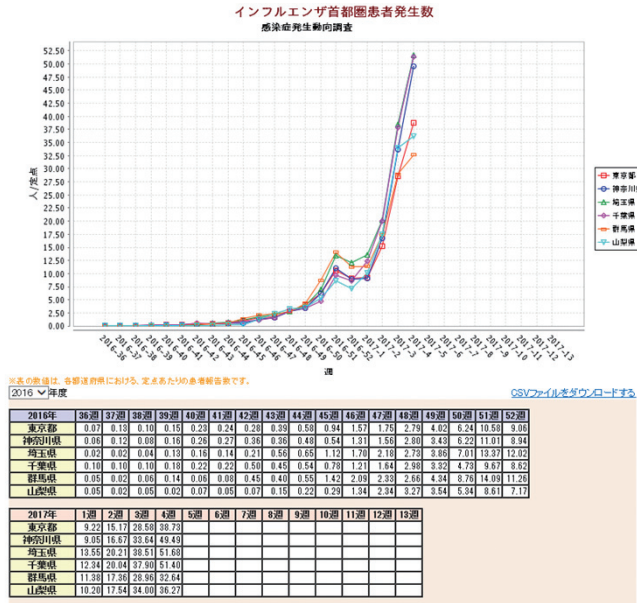


図1. インフルエンザ患者報告数推移

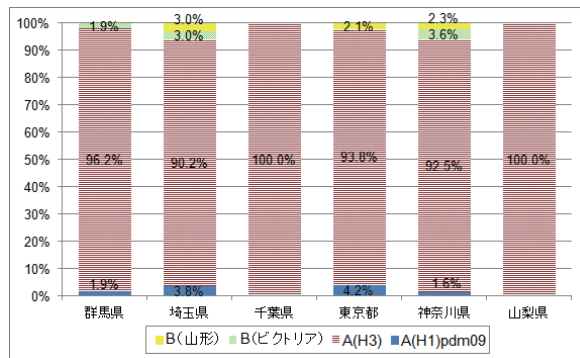


図2. インフルエンザウイルスの検出状況

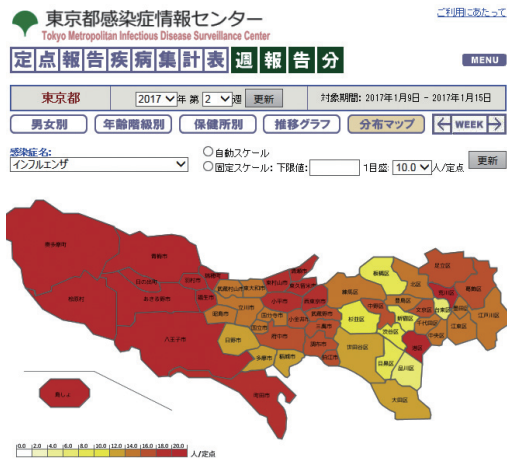
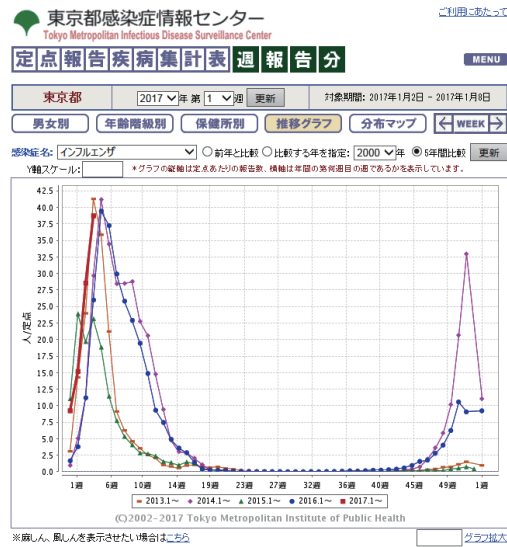


図3. 東京都感染症情報センターのホームページ (WEB感染症発生動向調査)

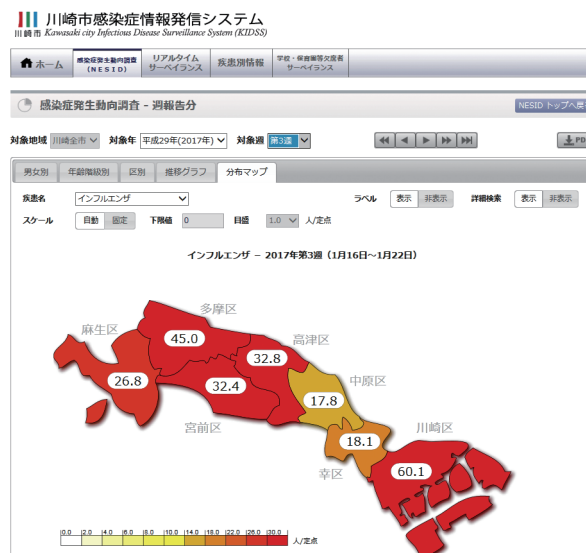
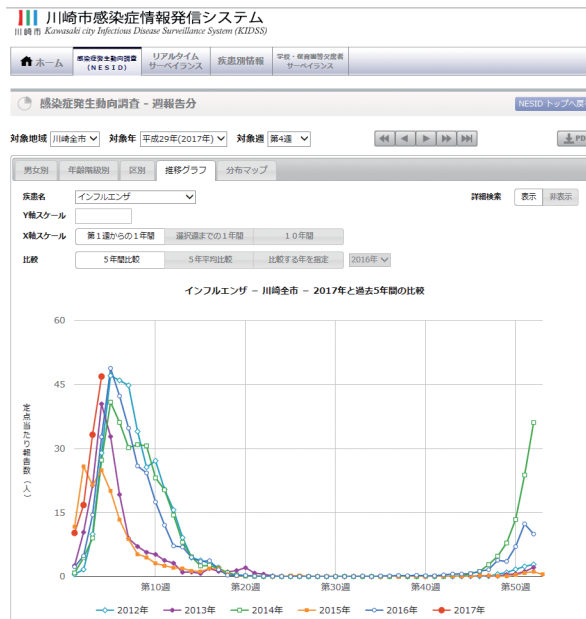


図4. 川崎市感染症情報センターのホームページ (川崎市感染症情報発信システム)



## 地方感染症情報センターの立場からの感染症発生動向調査の評価と改善 感染症発生動向調査業務を支援する情報ツール－週報作成機能の追加

研究分担者	中村 廣志	神奈川県衛生研究所
研究協力者	中野 道晴	北海道立衛生研究所
	市橋 大山	北海道立衛生研究所
	岡野 素彦	北海道立衛生研究所
	神谷 信行	感染症サーベイランス情報ネットワーク研究会

### 研究要旨

地方感染症情報センター（以下、地方センター）では、感染症発生動向調査システム（NESID）の還元データを収集、解析して地域の感染症発生動向状況をホームページなどにより情報発信を行っている。平成26年度にこの業務を支援する情報ツールである「感染症発生動向調査支援ツール」（以下、「ツール」）を開発し、全国の地方センターに提供した<sup>1)</sup>。「ツール」を用いることにより、全数、定点（週・月）把握感染症（以下、全数、定点）の集計表、経時変化グラフが簡便な操作で迅速に作成できる。H28年度は、一度の操作で集計表をエクセル出力する機能、また基幹定点把握感染症についてグラフ表示する機能を追加した。

### A. 研究目的

全国の地方センターが毎週行う感染症患者所報の集計、解析の業務には共通する作業が多い。利用するNESID還元データの様式、名称は同じであり、経時的に集積し、集計表、グラフを作成する作業工程も同様である。この定型的作業を効率化、迅速化することを目的として、地方センターが共通利用できる「ツール」を平成26年度に提供した。27年度はこれまで県相互で報告数の比較が困難であった全数について、全国各県の報告数を県内人口で除し、対人口報告数として表示する機能を追加した。また当該週に加えて過去5週間の集計表及び3週間の増減グラフを出力し、全数、定点の近況を俯瞰的に観察できる「近況把握」機能を追加した。「ツール」から集計表、経時変動グラフ等を出力し、適宜編集して週報ページを作成することは可能であった。しかし対象感染症が100を超え、管内保健所数が多い（北海道では政令市分を含めて30か所）ことから、この作業には、時間的な負担が大きかった。そこで、28年度はワンクリックで週報ページを出力する機能追加につ

いて検討を行った。またこれまで基幹定点把握感染症については集計表のみを出力していたが、他の感染症と同様に経時変化をグラフ表示する機能を検討した。

### B. 研究方法

「ツール」では毎週集積した全数、定点の集計データをCSV形式で出力する機能もっている。全数、定点の「近況把握」の一覧集計表から、個々の感染症について増減状況を確認し、それぞれの集計表を出力してきた。これを一括してすべての集計表をエクセル出力するようにシステムに変更を加えた。

実際の操作は、「近況把握」画面に設定した「週報作成」ボタンをクリックすることにより、以下の項目ごとにエクセルシート上に出力させた。それぞれのシートには1. トップページ、2. 全数；当該週＋過去5週間の管内報告数、5週平均、対平均、対前週、および累積報告数、3. 定点；当該週＋過去5週間の管内定点当たり報告数、5週平均、対平均、対前週および累積報告数、(性感染

症および基幹定点-薬剤耐性菌感染症では当該月+過去5か月、対平均、対前週、および累積報告数)、4. 保健所ごとの全数; 当該週の保健所別全数の報告数、累積報告数及び全国、管内総計、5. 保健所ごとの週報定点; 当該週の保健所別定点(週報)の報告数、累積報告数及び全国、管内総計、6. 保健所ごとの月報定点; 当該月の定点(月報)の報告数、累積報告数および全国、管内総計を表示した。

トップページは白紙ページとして、当該週に注目すべき全数、定点感染症の近況把握グラフ、定点週報の特定保健所の経時変化グラフ等を配置して各地方センターが独自の特色あるページ作りができることとした。基本的なページ構成は中央感染症情報センター(国立感染症研究所感染症疫学センター)が毎週発行している週報になった。さらにツールの名称をID-Data Analysisと変更し、より感染症情報の解析ツールとしての位置づけを明確にした。

### C. 研究結果

北海道の2016年52週、12月の週報作成機能による出力例(図)を示した。トップページの例として全数、定点の増減に関するコメント、また過去5週間に報告のあった全数の集計表、「近況把握」から全数の腸管出血性大腸菌感染症の全国状況、定点のインフルエンザ管内状況、注目する定点として中標津保健所の経時変化グラフを配置した。

「ツール」の「近況把握」機能では、地域(県・市、保健所管内)に加えて全国各県の定点、全数把握感染症について、過去週と当該週の6週分の増減が集計表として、また3週分がグラフとして表示される。注目する感染症、保健所に的を絞って、全数、定点の集計表、経時変化グラフ等を週報の素材として保存し、適宜、トップページに配置し、コメントを加えて、最終的に公開用PDFファイルとする。これをWebに掲載する。ここまでの作業時間は1~3時間と大幅に短縮される。

### D. 考察

「週報出力機能」の追加により、毎週の全数及

び定点集計表は還元データの取り込みから30分以内ですべての集計表の出力が可能となった。前年度に機能追加した「近況把握」により、その週に注目すべき全数、定点および管内保健所を抽出し、必要な経時変化グラフ等を保存して、週報の総評(概要)としてのコメントすることが可能となった。これまで集計表やグラフの作成には多くの時間を費やしてきたが、「近況把握」、全数対人口比較グラフなどの機能を利用することで、当該週の全体のデータから特定の感染症、保健所に的を絞って詳細を検討・解析するというように作業工程が効率的かつ迅速なものとなった。

次年度は、本ツールが各地方センターにおいてどの程度利用されているかについて調査を行う予定である。

### E. 健康危険情報

なし

### F. 参考文献

- 1) 北海道公衆衛生学雑誌. pp.147-150, 中野道晴, 市橋大山, 長野秀樹, 扇谷陽子, 宮田淳, 岡野素彦(北海道立衛生研究所, 札幌市衛生研究所), 地方感染症情報センターにおける患者情報集計, 解析業務を支援する情報ツール
- 2) 北海道立衛生研究所報. 66, pp.109-113, 2016, 市橋大山, 久保田晶子, 中野道晴, 長野秀樹, 岡野素彦, 北海道における梅毒患者発生状況について -2006~2015年-
- 3) 北海道立衛生研究所報. 66, pp.115-128, 2016, 久保田晶子, 中野道晴, 市橋大山, 長野秀樹, 岡野素彦, 北海道における感染症発生動向調査について(2015年)

### G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

# 感染症発生動向調査支援ツールを 用いた公開ページの作成

中野 道晴<sup>1)</sup>、市橋 大山<sup>1)</sup>、岡野 素彦<sup>1)</sup>、  
神谷 信行<sup>2)</sup>、中村 廣志<sup>3)</sup>

1) 北海道立衛生研究所、  
2) 感染症サーベイランス情報ネットワーク研究会、3) 神奈川県衛生  
研究所

20170127 福島 中野

## 感染症発生動向調査支援ツール

**\*ねらい**

### 地方感染症情報センター

- 毎週行う定型的作業の**効率化、迅速化**
  - ・全数 定点(週・月)；集計表 グラフ
  - ・県・市 保健所 全国
- **発信項目・形式の共通化**
- **独自解析の工夫・発信**

平成26年度 開発・提供 ⇒ 地方感染症情報センター  
平成27年度 機能追加 ⇒ 近況把握、全数対人口表示  
平成28年度 支援ツール ⇒ **ID-Data Analysis**  
通報出力機能の追加

20170127 福島 中野

## 支援ツールの位置づけ

① 還元ファイルダウンロード  
② 取込(データベース登録)  
③ 集計  
④ 集計表・グラフの作成  
⑤ 情報公開

近況把握(全国・管内)、全数対人口表示  
通報ページの1クリック作成

感染症情報センターWEB 報道機関ほか

20170127 福島 中野

## 毎週の定型作業 迅速、簡便に

- ・データ取込
- ・データ集積
- ・集計表作成
- ・グラフ作成

全数 含む前年分  
定点 数週分  
全国データ

○ NESID還元データ(含む過去週)の取り込み  
>>> 集計表・グラフ作成 30分以内

20170127 福島 中野

## 出力メニュー

- (1) 感染症、保健所別の集計表・グラフ
- (2) 集計データ csvエクスポート
- (3) 近況把握で注目ポイントをつかむ

近況把握

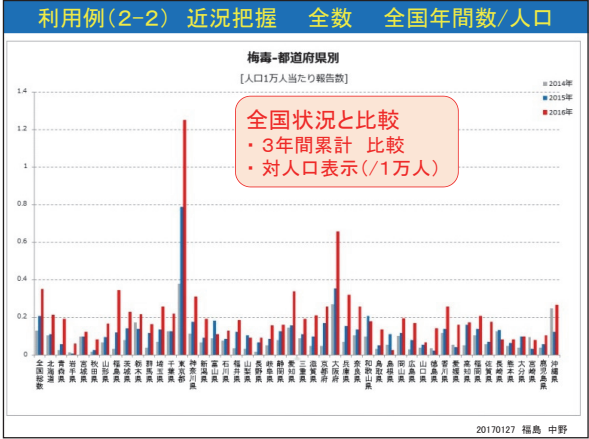
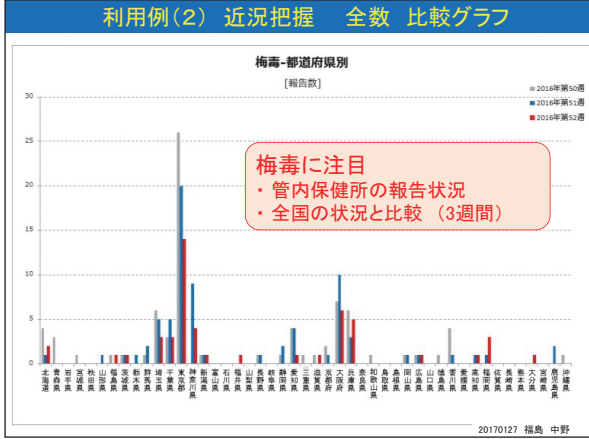
20170127 福島 中野

## 利用例(1) 近況把握 全数集計表

- ・当該週 + 5週間
- ・5週平均 対平均 対前週 年累計
- ・管内総計 全国
- 報告頻度、増減 ⇒ 詳細-比較グラフ

注目

20170127 福島 中野



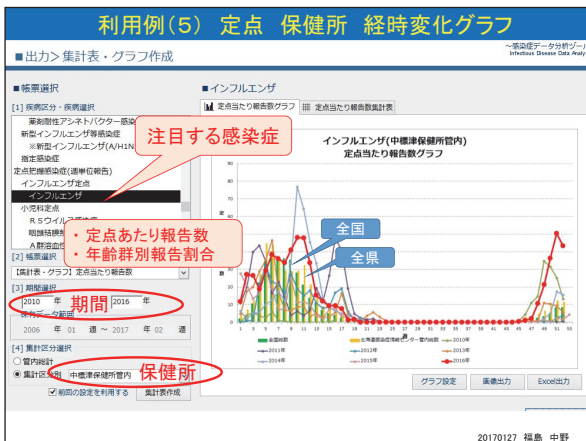
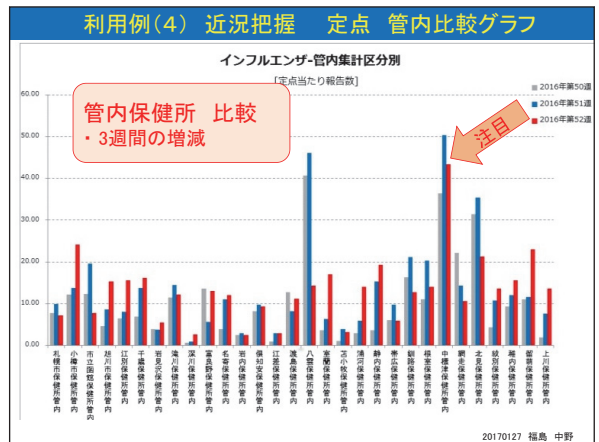


### 利用例(3) 近況把握 定点 管内集計 集計

疾病名	16年47週	16年48週	16年49週	16年50週	16年51週	16年52週	5週平均	対平均	対前週
インフルエンザ	3.85	4.89	6.52	9.42	12.38	11.42	7.41	4.00	-0.96
インフルエンザA	1.43	1.67	1.49	1.32	1.17	0.98	1.41	-0.44	-0.19
インフルエンザB	0.60	0.51	0.67	0.61	0.55	0.57	-0.02	-0.06	-0.06
人獣共通ウイルス等	5.55	5.37	5.29	4.89	2.95	5.14	-2.19	-1.91	-1.91
急性性肺炎	3.15	4.39	5.53	6.44	5.99	4.18	5.11	-0.93	-1.82
水痘	1.26	0.85	1.23	1.04	1.13	0.58	1.10	-0.52	-0.55
手足口病	0.42	0.42	0.23	0.35	0.22	0.13	0.33	-0.19	-0.06
伝染性紅斑	0.08	0.13	0.11	0.14	0.12	0.08	0.12	-0.04	-0.04
突発性発疹	0.29	0.25	0.28	0.19	0.25	0.20	0.25	-0.06	-0.06
百日咳	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	-0.01
ヘルパンギーナ	0.14	0.06	0.08	0.06	0.06	0.08	0.08	0.00	0.02
流行性耳下腺炎	0.84	1.01	0.87	0.98	0.65	0.65	0.89	-0.24	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.38	0.45	0.31	0.38	0.21	0.07	0.34	-0.29	-0.14
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.09	0.01	0.08	0.04
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.09	0.08
マイコプラズマ肺炎	1.22	1.22	1.00	0.85	0.87	1.17	0.99	0.18	0.30
クラシミア肺炎	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.01	0.00
感染性胃腸炎(病原体)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.03	0.03	0.00	0.00

注目: インフルエンザ

当該週 + 5週間  
管内総計 増減  
5週平均対平均 対前週  
⇒ 比較グラフ



### 新機能! ID-Data Analysis 週報作成

出力>近況把握【基準週】2016年第52週【基準月】2016年12月

週別	CDI	疾病名	16年47週	16年48週	16年49週	16年50週	16年51週	16年52週	5週平均	対平均	対前週	16年計
2感染症1008	急性出血性	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0
2感染症1002	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0
2感染症1004	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0
2感染症1006	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0
2感染症1007	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0
2感染症1009	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0
2感染症1000	肺炎球菌	327	424	452	442	362	340	401.40	-66.40	-22	2385.4	
2感染症1011	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1003	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1005	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1007	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1010	肺炎球菌	2	2	2	2	3	2	2.60	-0.60	-1	26.9	
2感染症1014	肺炎球菌	4	2	2	2	3	2	2.60	-0.60	-1	26.9	
2感染症1012	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1013	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1015	肺炎球菌	1	1	1	1	1	1	1.00	0.00	0	5.2	
2感染症1016	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1017	肺炎球菌	4	2	2	2	3	2	2.60	-0.60	-1	26.9	
2感染症1018	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1019	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1020	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1021	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1022	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1023	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1024	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1025	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1026	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1027	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1028	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1029	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1030	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1031	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1032	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1033	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1034	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1035	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1036	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1037	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1038	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1039	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1040	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1041	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1042	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1043	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1044	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1045	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1046	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1047	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1048	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1049	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	
2感染症1050	肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	

週報集計表をエクセル出力  
管内総計 6週間 全数 定点  
当該週の各保健所 全数 定点  
トップページ

週報作成

20170127 福島 中野

### 週報 全数ページ 管内集計表

HIDWR 全数把握集計表

管内総計  
当該週 + 5週間  
5週平均 累計  
対平均、対前週 増減表示

各保健所 当該週集計  
ゼロ報告 → 非表示  
トップページに利用

20170127 福島 中野

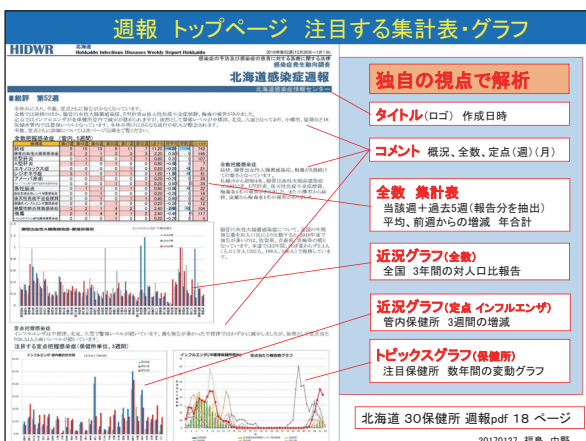
### 週報 定点ページ 管内集計表

HIDWR 定点把握集計表

週単位報告  
当該週・月 + 5週・月間  
5週・月平均  
対平均、対前週・月 増減表示  
管内総計 各保健所 集計

月単位報告 性感染症 男女  
月単位報告 薬剤耐性 男女

20170127 福島 中野



### ID-Data Analysis 新機能 週報出力

\* まとめ

週報ページを出力 (定型作業の迅速化)  
全数 定点(週・月) 集計表 グラフ  
全国 管内(全県・市) 保健所  
\* 発信項目・形式の共通化

独自の解析と工夫  
近況把握 6週間の増減 全国状況との比較  
"今、何が起きているか"  
トピックス 独自コメント 経時変化グラフ

\* 2月中に地研協議会サイトにアップ予定

20170127 福島 中野



# 北海道感染症週報

北海道感染症情報センター

## ■総評 第52週

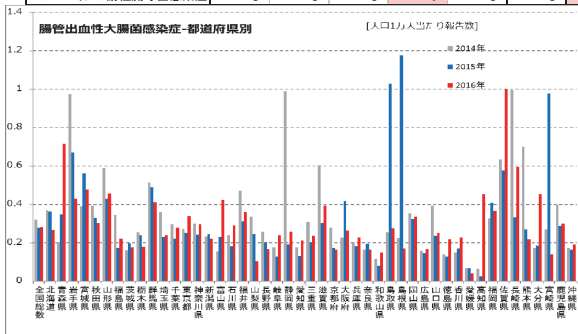
冬休みに入り、全数、定点ともに報告が少なくなっています。  
全数では結核のほか、腸管出血性大腸菌感染症、E型肝炎m後天性免疫不全症候群、梅毒の報告がありました。  
定点ではインフルエンザが各保健所管内で減少が認められますが、依然として警報レベルが中標津、北見、八雲となっており、小樽市、留萌など18保健所管内で注意報レベルとなっています。冬休み明けにさらなる流行の拡大が懸念されます。  
全数、定点ともに詳細については次ページ以降をご覧ください。

### 全数把握感染症 (管内、5週間)

疾病名	第47週	第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	5週平均	対平均	対前週	2016年計
結核	8	15	13	9	11	7	11.20	-4.20	-4	742
腸管出血性大腸菌感染症	2	2	1	3	3	3	2.20	0.80	0	146
E型肝炎	0	1	2	0	1	1	0.80	0.20	0	107
A型肝炎	2	1	0	1	0	0	0.80	-0.80	0	7
エキノкокクス症	0	0	0	0	1	0	0.20	-0.20	-1	21
レジオネラ症	3	1	0	1	1	0	1.20	-1.20	-1	41
アメーバ赤痢	0	0	1	0	0	0	0.20	-0.20	0	36
カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	1	0	1	0.20	0.80	1	34
急性脳炎	0	1	1	0	1	0	0.60	-0.60	-1	32
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1	0	0	0	0.20	-0.20	0	16
後天性免疫不全症候群	0	0	1	0	1	1	0.40	0.60	0	42
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1	0	0	0.20	-0.20	0	12
侵襲性肺炎球菌感染症	3	2	1	4	2	0	2.40	-2.40	-2	104
梅毒	2	1	4	4	1	2	2.40	-0.40	-2	117
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0	0	0.20	-0.20	0	4

### 全数把握感染症

結核、腸管出血性大腸菌感染症、梅毒が5週続けての報告となっています。  
札幌市から結核4名、腸管出血性大腸菌感染症(O103)2名、E型肝炎、後天性免疫不全症候群、梅毒各1名の報告がありました。また小樽市から結核、室蘭から梅毒各1名の報告がありました。

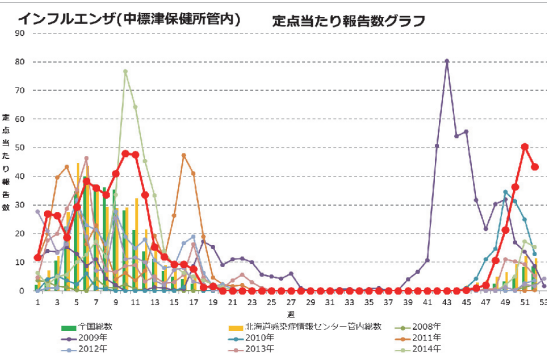
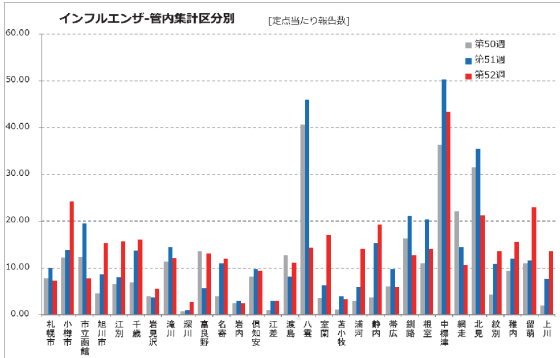


腸管出血性大腸菌感染症について、全国の年間報告数を対人口比により比較すると、2016年度で報告が多いのは、佐賀県、青森県、長崎県の順となっています。本道では3年間、ほぼ変わらず0.3人/人口1万人(202人、198人、146人)で推移しています。

### 定点把握感染症

インフルエンザは中標津、北見、八雲で警報レベルが続いています。中標津でわずかに減少しましたが、依然として定点当たり50.33人と高いレベルが続いています。

### 注目する定点把握感染症(保健所単位、3週間)



## ■ 全数把握感染症

北海道・過去5週の平均値に対する報告数の増減

疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	52週	平均	対平均	対前週	累積
結核	8	15	13	10	12	10	11.60	-1.60	-2	747
腸管出血性大腸菌感染症	2	2	1	3	3	4	2.20	1.80	1	147
E型肝炎	0	1	2	0	1	1	0.80	0.20	0	107
A型肝炎	2	1	0	1	0	0	0.80	-0.80	0	7
エキノкокクス症	0	0	0	0	1	0	0.20	-0.20	-1	21
回帰熱	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	5
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	1
デング熱	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	2
マラリア	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	2
ライム病	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	5
レジオネラ症	3	1	0	1	1	0	1.20	-1.20	-1	41
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	2
アメーバ赤痢	0	0	1	0	0	0	0.20	-0.20	0	36
ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	1	0	1	0.20	0.80	1	34
急性脳炎	0	1	1	0	1	0	0.60	-0.60	-1	32
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	3
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	12
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1	0	0	0	0.20	-0.20	0	16
後天性免疫不全症候群	0	0	1	0	1	1	0.40	0.60	0	42
ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1	0	0	0.20	-0.20	0	12
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	1
侵襲性肺炎球菌感染症	3	2	1	5	2	1	2.60	-1.60	-1	106
水痘（入院例に限る）	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	12
梅毒	2	1	4	4	1	2	2.40	-0.40	1	117
播種性クリプトкокクス症	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	3
破傷風	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	6
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0	0	0.20	-0.20	0	4
風しん	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	1
麻しん	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	1

■ 定点把握感染症（週単位報告）

北海道・過去5週の平均値に対する定点当たり報告数の増減

疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	52週	平均	対平均	対前週
インフルエンザ	3.85	4.89	6.52	9.42	12.38	11.42	8.08	3.34	-0.96
RSウイルス感染症	1.43	1.67	1.49	1.32	1.17	0.98	1.34	-0.36	-0.19
咽頭結膜熱	0.46	0.60	0.51	0.67	0.61	0.55	0.57	-0.02	-0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.62	5.55	5.37	5.29	4.89	2.95	4.78	-1.83	-1.94
感染性胃腸炎	3.19	4.39	5.53	6.44	5.99	4.18	4.95	-0.78	-1.82
水痘	1.26	0.85	1.23	1.04	1.13	0.58	1.01	-0.44	-0.55
手足口病	0.42	0.42	0.23	0.35	0.22	0.13	0.29	-0.16	-0.08
伝染性紅斑	0.08	0.13	0.11	0.14	0.12	0.08	0.11	-0.03	-0.04
突発性発しん	0.28	0.25	0.28	0.18	0.25	0.20	0.24	-0.04	-0.05
百日咳	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	-0.01
ヘルパンギーナ	0.14	0.06	0.08	0.06	0.06	0.08	0.08	0.00	0.02
流行性耳下腺炎	0.94	1.01	0.87	0.98	0.65	0.65	0.85	-0.20	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.38	0.45	0.31	0.38	0.21	0.07	0.30	-0.23	-0.14
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるもの）	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	0.04	0.01	0.03	0.04
クラミジア肺炎	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	-0.01	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.09	0.02	0.07	0.04
マイコプラズマ肺炎	1.22	1.22	1.00	0.65	0.87	1.17	1.02	0.15	0.30
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.01	0.07	0.09

■ 定点把握感染症（月単位報告）性感染症

北海道・過去5ヶ月の平均値に対する定点当たり報告数の増減

疾病名	(性別)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	対平均	対前月
性器クラミジア感染症	(男性)	0.55	0.83	0.83	0.81	0.66	0.78	0.74	0.03	0.12
	(女性)	3.14	3.00	2.69	2.36	2.76	2.88	2.80	0.07	0.12
性器ヘルペスウイルス感染症	(男性)	0.29	0.24	0.26	0.17	0.20	0.18	0.22	-0.05	-0.02
	(女性)	0.83	1.10	0.81	1.05	1.05	0.40	0.88	-0.48	-0.65
尖圭コンジローマ	(男性)	0.14	0.15	0.07	0.07	0.22	0.18	0.14	0.04	-0.04
	(女性)	0.24	0.22	0.14	0.17	0.24	0.13	0.19	-0.06	-0.12
淋菌感染症	(男性)	0.38	0.49	0.43	0.38	0.22	0.30	0.37	-0.07	0.08
	(女性)	0.43	0.66	0.60	0.33	0.54	0.55	0.52	0.03	0.01

■ 定点把握感染症（月単位報告）薬剤耐性菌感染症

北海道・過去5ヶ月の平均値に対する定点当たり報告数の増減

疾病名	(性別)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	対平均	対前月
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	(男性)	0.00	0.04	0.09	0.13	0.00	0.00	0.04	-0.04	0.00
	(女性)	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	0.01	-0.01	0.00
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(男性)	1.52	1.91	1.43	1.00	1.30	1.17	1.39	-0.22	-0.13
	(女性)	0.52	0.78	0.74	0.83	0.96	0.65	0.75	-0.09	-0.30
薬剤耐性緑膿菌感染症	(男性)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(女性)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

■ 52週のデータ

報告数・累積報告数、疾病・管内別

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
管内総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数、疾病・管内別

	結核		ジフテリア		重症急性呼吸器症候群		中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス)		鳥インフルエンザ(H5N1)		鳥インフルエンザ(H7N9)		コレラ		細菌性赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	340	23854	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	121
管内総数	10	747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市保健所管内	4	246	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江別保健所管内	1	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



名寄保健所管内	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
俱知安保健所管内	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	2	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数、疾病・管内別

	腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	18	3641	1	52	-	19	7	354	-	-	2	269	-	20	-	-
管内総数	4	147	-	-	-	-	1	107	-	-	-	7	-	21	-	-
札幌市保健所管内	2	70	-	-	-	-	1	35	-	-	-	5	-	4	-	-
小樽市保健所管内	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	3	-	-
旭川市保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	1	-	-
江別保健所管内	1	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
俱知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
室蘭保健所管内	1	2	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1	-	-
苫小牧保健所管内	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
釧路保健所管内	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
中標津保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
網走保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北見保健所管内	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
紋別保健所管内	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

留萌保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数、疾病・管内別

	オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キヤサヌル森林病		Q熱		狂犬病		コクシジオイデス症		サル痘		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
全国総数	-	6	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
管内総数	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江別保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数、疾病・管内別

	ジカウイルス感染症		重症熱性血小板減少症候群		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	-	12	1	60	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	13	500
管内総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
札幌市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数、疾病・管内別

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ (H5N1を除く)		ニパウイルス感 染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺 症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	3	338	-	-	-	-	-	-	2	275	-	11	-	-	-	-
管内総数	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・管内別

	鼻疽		ブルセラ症		ペネズエラウマ脳炎		ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野兔病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	1	54	-	-
管内総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
札幌市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・管内別

	ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	-	8	-	-	-	-	-	-	17	1592	-	74	-	-	10	1133
管内総数	-	5	-	-	-	-	-	-	41	-	2	-	-	-	-	36
札幌市保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	18
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
市立函館保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	4
江別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1



岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
苫小牧保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3
釧路保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・管内別

	ウイルス性肝炎		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		急性脳炎		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レプトスピラ菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	2	273	19	1555	8	750	-	14	-	172	6	492	10	1428	-	71
管内総数	-	6	1	34	-	32	-	3	-	12	-	16	1	42	-	1
札幌市保健所管内	-	1	1	18	-	12	-	-	-	5	-	14	1	33	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	3	-	2	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
江別保健所管内	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
苫小牧保健所管内	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	3	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

網走保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・管内別

	侵襲性インフルエンザ菌感染症		侵襲性髄膜炎菌感染症		侵襲性肺炎球菌感染症		水痘(入院例に限る)		先天性風しん症候群		梅毒		播種性クリプトコックス症		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
全国総数	3	307	-	43	60	2693	2	313	-	-	49	4518	4	136	2	128
管内総数	-	12	-	1	1	106	-	12	-	-	2	117	-	3	-	6
札幌市保健所管内	-	5	-	1	1	59	-	6	-	-	1	59	-	1	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
市立函館保健所管内	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	25	-	-	-	1
江別保健所管内	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
苫小牧保健所管内	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	1	-	-	-	4	-	1	-	-	-	4	-	2	-	1
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・管内別

	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻疹		薬剤耐性アシネトバクター感染症							
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積						
全国総数	-	-	-	61	-	125	1	159	-	33						
管内総数	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-						
札幌市保健所管内	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-						
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
市立函館保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

江別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	1	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 52週のデータ

報告数・定点当り報告数, 疾病・管内別

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
全国総数	41438	8.54	1850	0.60	1224	0.39	4777	1.54	29897	9.64	1581	0.51	739	0.24	247	0.08
管内総数	2580	11.42	139	0.98	78	0.55	419	2.95	593	4.18	82	0.58	19	0.13	11	0.08
札幌市保健所管内	407	7.27	42	1.14	25	0.68	113	3.05	184	4.97	36	0.97	9	0.24	1	0.03
小樽市保健所管内	121	24.20	7	2.33	-	-	7	2.33	13	4.33	1	0.33	-	-	-	-
市立函館保健所管内	86	7.82	1	0.14	2	0.29	7	1.00	41	5.86	1	0.14	-	-	-	-
旭川市保健所管内	199	15.31	8	1.00	3	0.38	19	2.38	9	1.13	5	0.63	-	-	-	-
江別保健所管内	125	15.63	7	1.40	3	0.60	6	1.20	20	4.00	1	0.20	1	0.20	-	-
千歳保健所管内	129	16.13	3	0.60	3	0.60	13	2.60	44	8.80	3	0.60	-	-	1	0.20
岩見沢保健所管内	44	5.50	12	2.40	4	0.80	16	3.20	2	0.40	2	0.40	-	-	-	-
滝川保健所管内	85	12.14	11	2.75	-	-	10	2.50	12	3.00	3	0.75	1	0.25	-	-
深川保健所管内	8	2.67	-	-	4	2.00	16	8.00	7	3.50	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	39	13.00	4	2.00	-	-	5	2.50	13	6.50	-	-	1	0.50	-	-
名寄保健所管内	60	12.00	1	0.33	5	1.67	8	2.67	9	3.00	1	0.33	1	0.33	-	-
岩内保健所管内	5	2.50	-	-	-	-	1	1.00	9	9.00	1	1.00	-	-	-	-
倶知安保健所管内	47	9.40	4	1.33	-	-	-	-	47	15.67	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	9	3.00	-	-	3	1.50	2	1.00	4	2.00	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	78	11.14	-	-	-	-	8	2.00	16	4.00	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	43	14.33	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	136	17.00	1	0.20	-	-	13	2.60	17	3.40	4	0.80	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	26	3.25	12	2.40	-	-	6	1.20	41	8.20	2	0.40	-	-	-	-
浦河保健所管内	28	14.00	3	3.00	1	1.00	18	18.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	58	19.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	77	5.92	3	0.38	-	-	84	10.50	13	1.63	4	0.50	-	-	3	0.38
釧路保健所管内	140	12.73	-	-	2	0.29	32	4.57	26	3.71	7	1.00	-	-	1	0.14
根室保健所管内	42	14.00	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	130	43.33	-	-	1	0.50	4	2.00	-	-	-	-	-	-	1	0.50
網走保健所管内	53	10.60	10	3.33	5	1.67	2	0.67	20	6.67	-	-	-	-	1	0.33
北見保健所管内	149	21.29	6	1.50	11	2.75	13	3.25	3	0.75	2	0.50	-	-	-	-
紋別保健所管内	68	13.60	1	0.33	1	0.33	12	4.00	7	2.33	3	1.00	4	1.33	3	1.00
稚内保健所管内	78	15.60	1	0.33	3	1.00	3	1.00	10	3.33	6	2.00	2	0.67	-	-
留萌保健所管内	69	23.00	1	0.50	2	1.00	1	0.50	22	11.00	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	41	13.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・管内別

	突発性発しん		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるもの)		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
全国総数	849	0.27	25	0.01	150	0.05	2220	0.72	6	0.01	360	0.54	35	0.07	2	0.00
管内総数	28	0.20	-	-	11	0.08	92	0.65	-	-	2	0.07	1	0.04	-	-
札幌市保健所管内	13	0.35	-	-	2	0.05	14	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	3	0.43	-	-	-	-	6	0.86	-	-	1	0.50	-	-	-	-
旭川市保健所管内	-	-	-	-	3	0.38	5	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-
江別保健所管内	1	0.20	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
千歳保健所管内	3	0.60	-	-	-	-	5	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	1	0.25	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	1	0.50	-	-	1	0.50	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

名寄保健所管内	-	-	-	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
俱知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	1	0.25	-	-	1	0.25	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	1	0.20	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	8	8.00	-	-	-	-	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	1	0.50	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	4	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内保健所管内	1	0.33	-	-	2	0.67	16	5.33	-	-	-	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	12	6.00	-	-	-	1	1.00	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数、疾病・管内別

	細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		無菌性髄膜炎									
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り								
全国総数	7	0.01	360	0.76	11	0.02								
管内総数	2	0.09	27	1.17	2	0.09								
札幌市保健所管内	-	-	1	1.00	-	-								
小樽市保健所管内	-	-	1	1.00	-	-								
市立函館保健所管内	2	2.00	-	-	-	-								
旭川市保健所管内	-	-	-	-	-	-								
江別保健所管内	-	-	-	-	-	-								
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-								
岩見沢保健所管内	-	-	1	1.00	-	-								
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-								
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-								
富良野保健所管内	-	-	15	15.00	-	-								
名寄保健所管内	-	-	-	-	1	1.00								
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-								
俱知安保健所管内	-	-	1	1.00	-	-								
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-								
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-								
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-								
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-								
苫小牧保健所管内	-	-	2	2.00	1	1.00								
浦河保健所管内	-	-	3	3.00	-	-								
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-								
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-								
釧路保健所管内	-	-	1	1.00	-	-								
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-								
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-								
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-								
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-								
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-								
稚内保健所管内	-	-	1	1.00	-	-								

---

留萌保健所管内	-	-	1	1.00	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-

---



## 12月のデータ

報告数・定点当り報告数、疾病・管内・性別（総数）

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
全国総数	1927	1.96	754	0.77	411	0.42	612	0.62	164	0.35	1316	2.77	19	0.04
管内総数	146	3.65	23	0.58	12	0.30	34	0.85	-	-	42	1.83	-	-
札幌市保健所管内	92	7.08	12	0.92	6	0.46	20	1.54	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	10	5.00	1	0.50	-	-	1	0.50	-	-	2	2.00	-	-
旭川市保健所管内	13	4.33	7	2.33	-	-	5	1.67	-	-	2	2.00	-	-
江別保健所管内	3	3.00	-	-	3	3.00	1	1.00	-	-	5	5.00	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	2	1.00	-	-	1	0.50	1	0.50	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
名寄保健所管内	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
室蘭保健所管内	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3.00	-	-
苫小牧保健所管内	6	3.00	1	0.50	-	-	2	1.00	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3.00	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	6	2.00	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8.00	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	12	12.00	-	-
稚内保健所管内	2	2.00	2	2.00	1	1.00	1	1.00	-	-	5	5.00	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数、疾病・管内・性別（男性）

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
全国総数	966	0.98	305	0.31	254	0.26	486	0.49	98	0.21	816	1.72	15	0.03
管内総数	31	0.78	7	0.18	7	0.18	12	0.30	-	-	27	1.17	-	-
札幌市保健所管内	15	1.15	5	0.38	2	0.15	5	0.38	-	-	-	-	-	-
小樽市保健所管内	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
市立函館保健所管内	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-
旭川市保健所管内	3	1.00	1	0.33	-	-	2	0.67	-	-	2	2.00	-	-
江別保健所管内	3	3.00	-	-	3	3.00	1	1.00	-	-	4	4.00	-	-
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢保健所管内	2	1.00	-	-	1	0.50	1	0.50	-	-	-	-	-	-
滝川保健所管内	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

名寄保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
室蘭保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-
苫小牧保健所管内	4	2.00	1	0.50	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
帯広保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4.00	-	-	-	-
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
網走保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北見保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	7	7.00	-	-	-	-
稚内保健所管内	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	5	5.00	-	-	-	-
留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数、疾病・管内・性別(女)

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症			
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り		
全国総数	961	0.98	449	0.46	157	0.16	126	0.13	66	0.14	500	1.05	4	0.01		
管内総数	115	2.88	16	0.40	5	0.13	22	0.55	-	-	15	0.65	-	-		
札幌市保健所管内	77	5.92	7	0.54	4	0.31	15	1.15	-	-	-	-	-	-		
小樽市保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
市立函館保健所管内	8	4.00	1	0.50	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-		
旭川市保健所管内	10	3.33	6	2.00	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-		
江別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-		
千歳保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
岩見沢保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
滝川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
深川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
富良野保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-		
名寄保健所管内	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
岩内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
倶知安保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
江差保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
渡島保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
八雲保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-		
室蘭保健所管内	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-		
苫小牧保健所管内	2	1.00	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-		
浦河保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-		
静内保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
帯広保健所管内	6	2.00	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-		
釧路保健所管内	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4.00	-	-		
根室保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
中標津保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
網走保健所管内	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
北見保健所管内	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
紋別保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5.00	-	-		
稚内保健所管内	2	2.00	2	2.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-		

---

留萌保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上川保健所管内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

---

## 地方衛生研究所における病原体サーベイランスの評価と改善

研究分担者	中村 廣志	神奈川県衛生研究所
研究協力者	岸本 剛	埼玉県衛生研究所
	貞升 健志	東京都健康安全研究センター
	安井 善宏	愛知県衛生研究所
	三好 龍也	堺市衛生研究所
	森 愛	神戸市環境保健研究所
	濱野 雅子	岡山県環境保健センター
	山下 育孝	愛媛県立衛生環境研究所
	中村 麻子	福岡県保健環境研究所
	井野 由莉恵	川越市保健所
	坂田 恭平	越谷市保健所
	仲田 貴	さいたま市健康科学研究センター
	木下 一美	国立感染症研究所
	加納 和彦	国立感染症研究所
	篠原 美千代	埼玉県衛生研究所
	内田 和江	埼玉県衛生研究所
	山田 文也	埼玉県衛生研究所

### 研究要旨

2016年4月に感染症に関する情報の収集体制の強化を目的とした「感染症の予防及び感染症に対する医療に関する法律の一部を改正する法律」が完全施行された。この改正には、病原体検査の質の向上を図るため、自治体が入手した検体について、検査の実施と報告、検査基準の策定の規定が設けられたことから、各自治体における感染症検査状況の変容を調査した。調査は、各自治体が設置する地方衛生研究所感染症発生動向調査実施要領に調査単位ごとの採取検体数が規定されたインフルエンザおよび5類小児科定点把握対象のウイルス性疾患について行った。その結果、インフルエンザでは、過去2年間の同時期と比べ法改正によるとみられる検体数の増加が認められた。また、その他の小児科定点把握対象疾患では、その増減は各機関により異なる傾向を示し対象疾患の流行に一致した検体数の増減が観察された。このことから、制度の改正はインフルエンザ検査の標準化の点で一定の成果と考えられる。

### A. 研究目的

我々は昨年までに、病原体サーベイランス、特にウイルス性疾患の病原体サーベイランスについて自治体間の連携や病原体収集方法などの地域特性を明らかにし、感染症法改正後の円滑な病原体サーベイランス実施のための検討を行った。その後、2016年4月に改正感染症法が施行され、情報

収集体制の強化が図られた。そこで、法改正前後の体制、検体受付数などを比較することで、制度改正による病原体サーベイランスの変容を調査し、改正後の病原体サーベイランスの運用状況の把握を試みた。

## B. 研究方法

制度改正の影響を評価するため新制度が開始された直後の2016年6月に、研究協力者となっている地方衛生研究所9ヶ所（いずれも地方衛生研究所全国協議会加盟）及び保健所設置市2か所において、定点医療機関数、検査機器の導入整備状況、人員・予算等の変容、インフルエンザおよび小児科定点医療機関報告疾患の選択状況と検体搬入状況、標準作業書、精度管理責任者の設置、精度管理など検査体制の整備状況および情報還元方法についてアンケートにより調査した。その結果に基づき、研究協力者間で、意見交換会を実施し現状の把握を試みた。

さらに、調査結果から改正直後に施設間差が大きいたことが判明した検体搬入状況について、地方衛生研究所全国協議会に加盟している81機関の地方衛生研究所を対象に2016年10月に留め置き式アンケートによる調査を実施した。調査項目は、調査対象機関における病原体検査の実施状況および疾患別の検体収集状況とした。検体収集状況については、制度改正前の2014年、2015年と改正後の2016年の各年4月から9月までの6カ月間を調査対象期間とし、インフルエンザのほか、5類小児科定点把握対象のウイルス性疾患として、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発疹、ヘルパンギーナおよび流行性耳下腺炎の9疾患の状況の把握を試みた。

（倫理面への配慮）

本研究では、個人情報を取り扱わないため、個人情報保護に係る問題は生じない。

## C. 研究結果

### 1. 11機関を対象とした調査

11機関を対象とした制度改正直後の調査では、定点把握対象疾患の病原体サーベイランスについて、要綱、要領の改正点など検査環境を含めた調査を行った。

#### 1) 指定定点数

法改正による定点医療機関数は、4自治体で変化があった。インフルエンザ定点では、1増と1減が各1自治体で行われており、いずれも内科定点医療機関数の変更であった。小児科定点数では、

増加自治体はなく、2自治体で1減となった（表1-1）。

#### 2) 検査機器整備状況

検査機器等の整備状況（複数回答）では、6機関で核酸増幅装置などを含む検出関連機器が、次いで培養関連装置が4機関で整備されていた（表1-2）。

#### 3) 組織人員・予算

病原体サーベイランスに関する人員は、増員機関が2機関、減員は1機関であった。また、予算は増額した機関が8機関あった（表1-3）。

#### 4) 小児科定点把握対象疾患の選択状況

感染症法の施行に先立ち、2015年11月に発出された感染症発生动向調査事業実施要綱では、小児科定点より選定された病原体定点においては、報告対象感染症のうち、患者発生状況等を踏まえ都道府県等においてあらかじめ選定した複数の感染症について、各月ごとに概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付することが明示された。

これに基づく小児科定点把握対象のウイルス性9疾患の選択状況は、4疾患以上を選択した自治体が8機関、4疾患未満が1機関、選定を行わず検体数で調整を行う自治体が1機関、無回答が1機関であった。

感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナの3疾患は回答のあった全ての機関で選択されていた（表1-4）。

#### 5) 検体数の変化

調査対象機関の検体数の変化をインフルエンザとインフルエンザ以外の疾患とに分け、法施行前後の同時期を比較した結果、インフルエンザでは施行後の検体数が増加しており、特に流行終期ではあるが4月の検体数の増加が顕著であった。一方インフルエンザ以外の小児科報告対象疾患の検体数は、いずれの月も施行前の同時期より微減していた（図1）。

#### 6) 作業書等の整備及び管理者の設置状況

11機関のうち2機関は、自施設での検査を実施しない方針であったため、9施設について法令で定められた作業書類の整備及び管理者の設置状況をまとめた。従前からある検査標準作業書を使用すると回答した1機関を除き、法令書類は新たに

作成されていた(表1-5)。また、部門管理者などの責任者は、9施設すべてで整備されていた(表1-6)。

#### 7) 精度管理

精度管理については、核酸増幅検査と培養検査について調査を行った。インフルエンザの核酸増幅検査に関しては、すでに検査を実施していた8機関すべてが地方衛生研究所全国協議会等の実施する外部精度管理への参加を予定していたが、その他外部精度管理への参加は機関により異なっていた。また、インフルエンザ以外の疾患では、対象機関すべてで内部精度管理が実施予定であった。一方、培養検査では内部精度管理のみが5機関で予定されていた(表1-7)。

#### 8) 情報還元

病原体情報の還元については、主にホームページ等の変更状況を調査した。情報の還元様式、還元周期の変更は、各2機関で、現行フォーマットの修正は1機関で実施されていたほか、2機関で修正が検討されていたが、新たにホームページを構築した自治体はなかった(表1-8)。

### 2. 全国調査

調査した81機関すべてから回答が得られた。

感染症発生動向調査に基づく病原体検査は、69機関で実施、2機関で一部の疾患について実施、1機関が実施準備中であり、9機関では他自治体へ検査が依頼されていた。

#### 1) 小児科定点把握疾患の選定状況

前述の1-4)に示した感染症発生動向調査事業実施要綱に基づく疾患の選択は、32機関で行われており、疾患の選択を行わず全疾患を対象とした機関が39機関であった。疾病を選択した32機関について、選択状況を疾患別に見ると、手足口病が最も多く27機関で、次いでヘルパンギーナの26機関、伝染性紅斑と突発性発しんの選択はそれぞれ3機関であった(図2)。

#### 2) 各年別の検体採取状況

各疾患の法施行前後の検体採取状況は、インフルエンザの検体数が2016年に大きく増加していた。また各年とも検体数が最も多い感染性胃腸炎では、2016年の検体数が2014年より微減、2015年より微増であった。

咽頭結膜熱は、法施行後の2016年の検体数が

最も多いものの微増に留まった。

RSウイルス感染症と突発性発しんは、法施行前後で対象疾患か否かの違いがある疾患である。改正後のRSウイルス感染症の検体数は、2014年、2015年のそれぞれ1.3倍、2倍へ増加したが、突発性発しんの検体数には大きな変化が認められなかった。

流行性耳下腺炎は、年毎に検体数の増加が認められた。一方、夏期に大きな流行が観察される手足口病とヘルパンギーナをみると、手足口病で2015年が、ヘルパンギーナでは2014年の検査件数が最も多く、手足口病では2014年と2016年が、ヘルパンギーナでは2015年と2016年が同程度の検体収集状況であった(図3)。

#### 3) 各年別の疾患別検体割合

いずれの年も感染性胃腸炎の検体割合が最も高く、2015年は手足口病の割合が増加した。インフルエンザは調査期間が4月から9月と概ね非流行期に当たるため、11~27%に留まった(図4)。

#### 4) 各疾患の月別検体採取数

各月の検体採取数と、WISH公開データから抽出した報告患者数の推移との比較を疾患別に行った。水痘、伝染性紅斑および突発性発しんについては、比較した各月とも検体数が少ないことから比較の対象から除外した(図5-5, 7, 8)。

インフルエンザでは、各年とも月別の報告患者数の減少に見合った検体数の減少が認められたが、いずれの月も法施行後の2016年の検体数が前年までの同時期のそれを上回った(図5-1)。その他の疾患では、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱および流行性耳下腺炎の2016年の報告患者数が前年までの同時期を上回っており、これに伴って検体数も増加していた(図5-2, 3, 10)。また、感染性胃腸炎およびヘルパンギーナでは、2014年、手足口病では2015年に、2016年と比べ大きな流行が観察された。感染性胃腸炎では、2014年の検体数が若干多いが、その差は小さかった。ヘルパンギーナでは、調査期間を通しての検体数では流行の大きかった2014年が最も多いが、報告患者数がピークとなる時期では、2016年の検体数が流行年より多くなっていた。手足口病では、流行年であった2015年と、非流行年の検体数の差は大きなものであった(図5-4, 6, 9)。



#### 5) 各機関の検体数の変化

年別の検体数の増減を表2に示した。検体数の増減比較は、検体数の変化が前年までと比べ80%から120%を検体数変化なしとし、80%未満の場合を減少、120%を超えた場合を増加と評価した。

インフルエンザは、2014年と2016年とを比べた場合、41機関で検体数が増加したのに対し、減少は17機関に留まった。また、2015年との比較では、増加が52機関、減少は8機関であった。さらに、どちらの比較においても検体数が大きく増加した機関が認められたのに対し、大きく減少した機関は認められなかった(図6)。

RSウイルス感染症は、法施行前までの感染症発生动向調査実施要綱において、病原体サーベイランス対象疾患ではなく、各機関の検体数は少なかった。改正後は病原体サーベイランス対象疾患となり、27機関で検体数は増加したが、大きな検体数の変化が認められたのは数機関に留まった。

咽頭結膜熱は、30機関で検体数が増加しているものの、他の疾患と比較し検体数が大きく減少した機関が多い傾向が見られた。

感染性胃腸炎は、法施行前から小児科定点把握対象疾患の中で最も多くの検体が収集されており、その傾向に変化は認められなかった。増加した機関、減少した機関とも多かったが、その変動の幅は小さかった。

手足口病の2016年の検体数は、29機関で2014年より増加していたが、2015年に全国的な流行の影響と考えられる大きな検体数の増加があったことから、2015年と比べると49機関で検体数は減少していた。

ヘルパンギーナは、2014年、2015年と2016年を比べ件数が増加した機関数は28機関、42機関で、いずれの年も減少した機関数(23機関、11機関)を上回った。

流行性耳下腺炎の2016年の件数は、前年までと比べ増加した機関が多かった(表2)。

#### D. 考察

2016年4月に施行された感染症法改正の主旨は、感染症に関する情報収集体制の強化である。感染症法に基づくサーベイランスでは、従前から感染症患者の地方自治体への届出は、「医師及び

指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準」に基づき一定の期間と精度で行われている。一方、病原体サーベイランスに関しては、患者の届出に当たる検体の提出についての基準は設けられていなかった。今回の改正法の施行により、患者の届出に関しては、中東呼吸器症候群(MERS)と鳥インフルエンザ(H7N9)が2類感染症へ類別されるなど患者に対する入院勧告などの措置の範囲が明確化された。病原体サーベイランスでは、感染症の患者等に対し検体の採取等に応じること、また、医療機関等に対し保有する検体を提出すること等を要請できる旨の規定が整備された。さらに、インフルエンザ検体の指定提出機関制度が創設されたほか、検体採取の基準が設けられた。すなわち、インフルエンザについては定点当たり報告患者数が1.0を超えた期間を流行期、定点当たり1.0を下回った期間を非流行期とし、流行期は週単位で少なくとも1検体、非流行期は月単位で1検体以上の採取が義務付けられた。また、小児定点報告対象疾患では、調査単位を月単位として、都道府県等においてあらかじめ選定した複数の感染症について、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付することが感染症発生动向調査実施要領に明記された。今回、この改正を受け実施されることとなった5類定点把握対象疾患のうち、インフルエンザおよび小児科定点報告対象疾患の病原体サーベイランスについて、その変容を調査した。

インフルエンザについては、法施行後の各月で検体数が増加しており、流行終期に当たる4月に最も大きな変化が観察された。この変容は、前段の11機関を対象とした調査でも、全国の地方衛生研究所を対象とした調査でも認められた。さらに、小児科定点医療機関の報告対象疾患においては、全国的な検体数の動向において、当該疾患の流行規模が収集検体数に大きな影響を及ぼしていることが観察され、法改正の影響は小さなものと考えられた。このことから、今回の改正は、インフルエンザ検体の収集という点で一定の成果があったものと考えられる。

しかし、施行直後の調査時点において準備段階の機関が散見されたことや、医療機関等の関係機関への説明などを勘案すると、その準備は充分で

あったとはいえ、関係機関の病原体サーベイランスへの理解と協力が質的な精度の向上の点でも重要な要素と考えられた。関係機関の理解と協力を求めるために、新制度で収集した病原体情報について、すでに一定の基準で報告されている患者情報と併せた情報の解析還元が重要である。収集した情報の解析は、原則として地方衛生研究所に設置することとされた感染症情報センターの役割で、その機能の充実が望まれる。

先行研究である「科学的根拠に基づく病原体サーベイランス手法の標準化に関する緊急研究」(研究代表者 調 恒明)では、感染症危機管理のためには、原因不明感染症について、次世代シーケンサーを用いた臨床検体のメタゲノム解析による病原体検出を活用するなど、地方衛生研究所と国立感染症研究所とのネットワークにより原因不明検体に応用できる体制を積極的に構築することが提言として示されている。今後、このような新しい検査法を導入するなど、地方衛生研究所における高度な検査機能の充実が求められる。

#### 謝辞

本研究を遂行するにあたり、ご指導ご助言をいただきました。地方衛生研究所全国協議会会長、山口県環境保健センター所長 調恒明先生に深謝申し上げます。また、アンケートの実施にあたり多忙な中ご協力いただきました地方衛生研究所全国協議会加盟81機関の御担当者様に深謝申し上げます。

#### E. 健康危険情報

なし

#### F. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表
  - 1) 内田和江, 山田文也, 篠原美千代, 岸本剛. 法改正による地方衛生研究所のウイルス検査への影響－分担研究「地方衛生研究所の立場からの感染症発生動向調査の評価と改善」班会議報告－, 平成28年度地方衛生研究所全国協議会第31回関東甲信越支部ウイルス研究部会, (千葉県).
  - 2) 岸本 剛. 感染症法改正と病原体サーベイランスについて, 第75回日本公衆衛生学会自由集会 (大阪).
  - 3) 岸本 剛, 篠原美千代, 山田文也, 内田和江, 中村廣志, 松井珠乃. 感染症法改正後の感染症情報機能の強化について－病原体サーベイランスを中心に－, 第30回公衆衛生情報研究協議会研究会, (福島県).

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

表 1-1. 定点医療機関数の変化

	インフルエンザ病原体定点の設置状況に変化はありましたか					
	前年より 増やした	前年より 減らした	増加を検 討中	削減を検 討中	変更なし	その他 (未定)
内科	1	1	0	0	8	1
小児科	0	2	0	0	8	1

( 機関数 )

表 1-2. 検査機器整備状況

法施行に合わせ整備した主な機材は次のうちどれですか(複数回答可)

	整備した	整備を予定	整備対象外
核酸検出関連装置	6	1	0
培養関連装置	4	0	3
検体搬入・保存関連装置	3	1	3
廃棄に関する装置	1	1	5
その他*	1	0	0

( 機関数 )

\* 純水製造装置、乾燥機等

表 1-3. 予算・人員の変化

組織	一昨年度(平成26年度)以降、病原体サーベイランス検査のため、組織改正を行いましたか				
	改組し、増員	改組のみ	改組し、減員	増員のみ	いずれもない
	1	1	1	1	7

予算	一昨年度(平成26年度)以降、病原体サーベイランス検査のための予算を変更しましたか	
	増額した	増額なし
	8	3

( 機関数 )

表 1-4. 検体搬入計画 (小児科定点把握対象疾患の選定)

小児科定点報告対象疾患のうち、検体収取対象に選定した又は選定を検討している疾患は次のうちどれですか(複数回答可)

	選択	非選択	無回答
RSウイルス感染症	7	3	1
咽頭結膜熱	9	1	1
感染性胃腸炎	10	0	1
水痘	4	6	1
手足口病	10	0	1
伝染性紅斑	3	7	1
突発性発しん	2	8	1
ヘルパンギーナ	10	0	1
流行性耳下腺炎	5	5	1

(機関数)

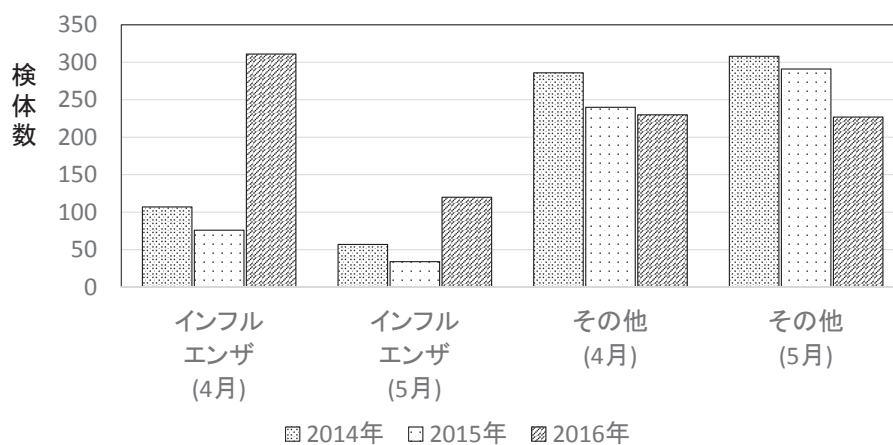


図1. 月別年別検体数の変化

表 1-5. 作業書の整備状況

省令等で定められた作業書について、法改正に合わせ作成又は修正したものはどれですか

	新たに作成	従前のものを改変	現在作成中	対象外*
検査標準作業書	5	1	4	1
検査の信頼性確保試験標準作業書	7	0	3	1
試薬等管理標準作業書	7	0	2	2
機器器具保守管理標準作業書	7	0	2	2
培養細胞管理標準作業書	7	0	2	2
検体取扱標準作業書	7	0	2	2

(機関数)

\* 検査委託等で、自施設で実施しない場合

表 1-6. 責任者の配置状況

法施行で定められた責任者の配置状況は次のうちどれですか(複数回答可)

	新たに設置	既存の管理者を充てた	従前から設置されていた	未対応
検査部門管理者	5	4	2	0
検査区分責任者	6	2	2	1
信頼性確保部門管理者	6	3	2	0

(機関数)

表 1-7. 精度管理実施計画

以下の項目について、今年度の精度管理計画を回答してください		
季節性インフルエンザ核酸増幅検査	実施予定あり	実施予定なし
地研協議会等が実施する外部精度管理	8	3
その他の外部精度管理	0	11
内部精度管理	7	4
季節性インフルエンザ以外の核酸増幅検査	実施予定あり	実施予定なし
外部精度管理	4	7
内部精度管理	8	3
季節性インフルエンザ培養検査	実施予定あり	実施予定なし
外部精度管理	0	11
内部精度管理	5	6
季節性インフルエンザ以外の培養検査	実施予定あり	実施予定なし
外部精度管理	0	11
内部精度管理	5	6

( 機関数 )

表 1-8. 精度管理実施計画

ホームページ等での病原体検出情報の発信について、法改正により  
情報発信方法の追加又は見直しを起こった項目を回答してください

	実施した	検討中	実施なし
ホームページ還元フォーマットの修正	1	4	1
ホームページの更新周期を変更した	0	3	1
週報などの還元様式を変更した	0	2	2
週報など還元周期を変更した	0	2	2
情報の還元先を変更した	0	2	2
新たにホームページを立ち上げた	0	0	11

( 機関数 )



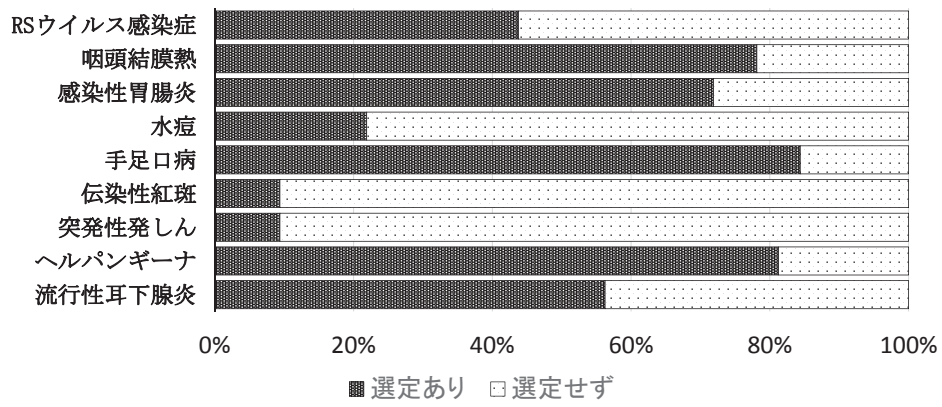


図2. 小児科定点把握対象の疾患別選定状況 (n=32)

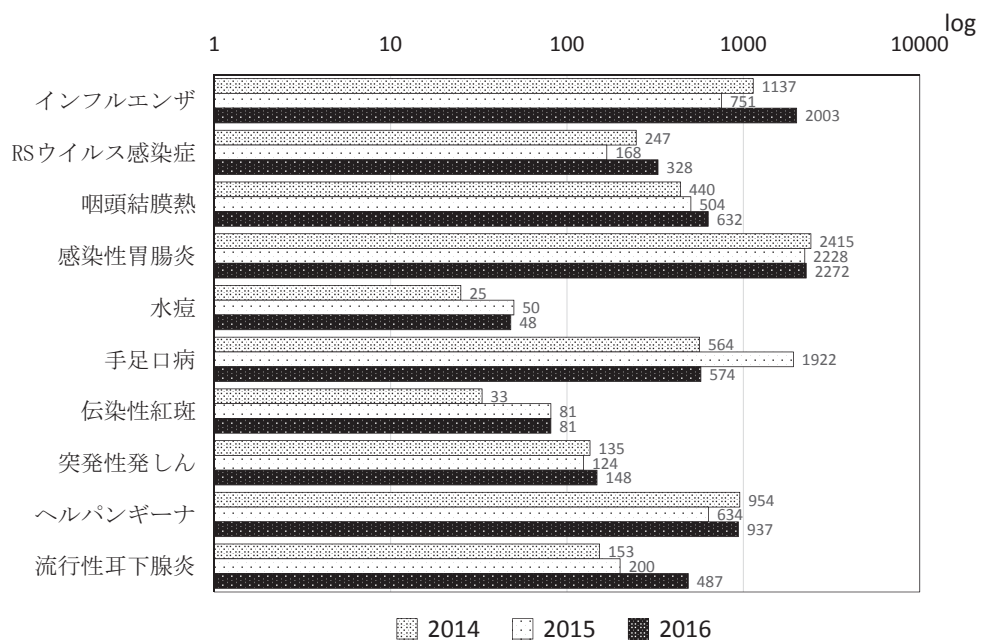


図3. 年別検体採取状況

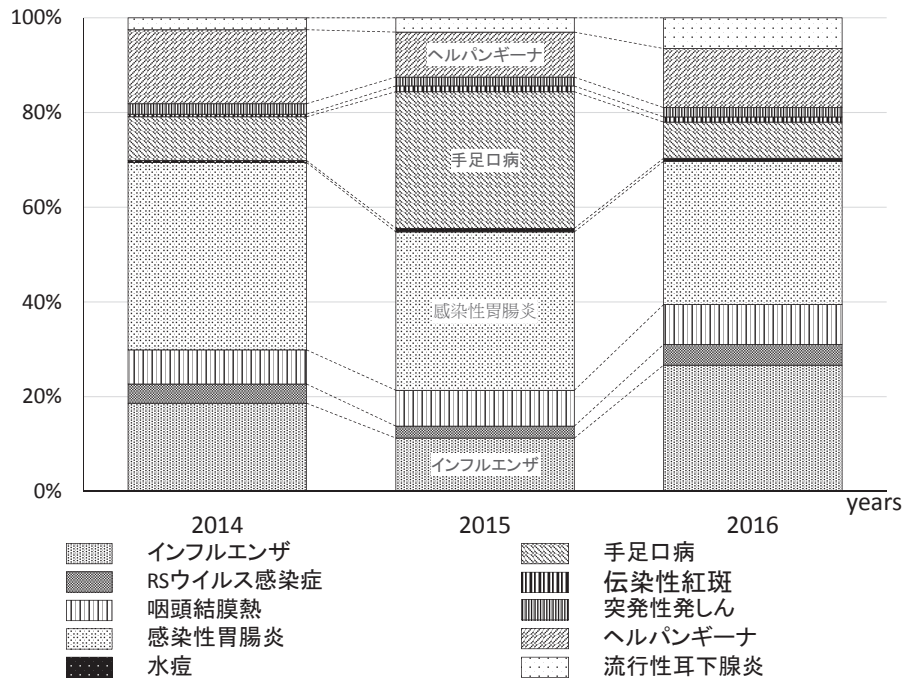


図4. 各年別疾患別検体数割合

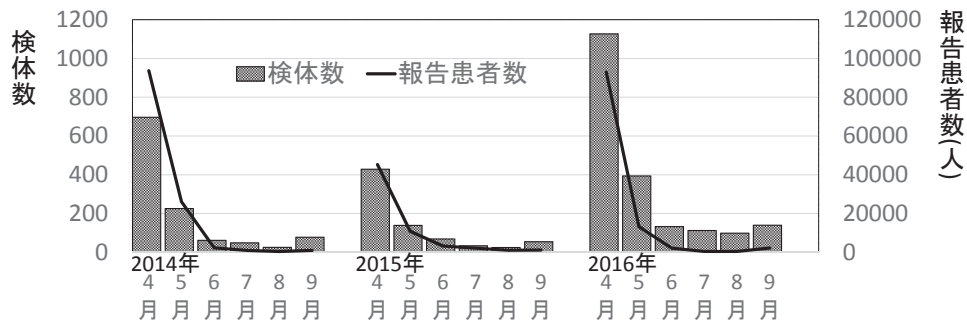


図5-1. 月別検体数と患者報告数(インフルエンザ)

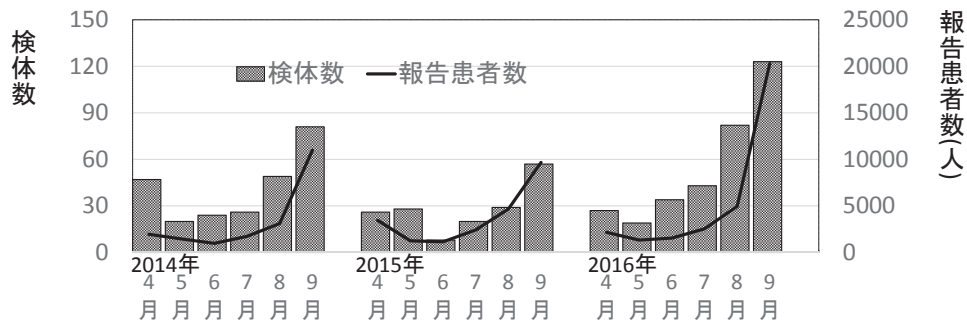


図5-2. 月別検体数と患者報告数(RSウイルス感染症)

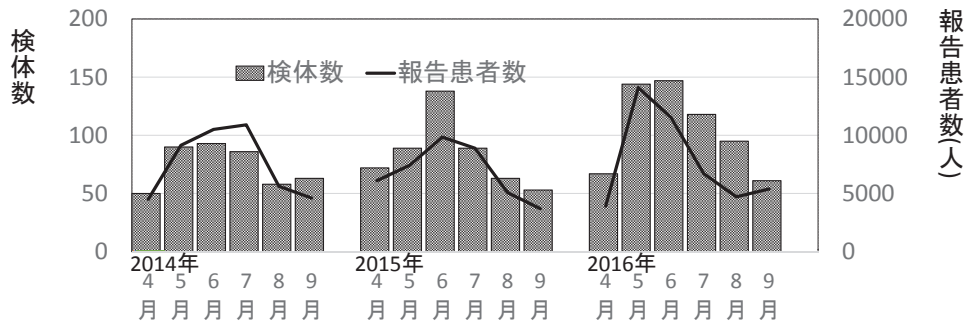


図5-3. 月別検体数と患者報告数(咽頭結膜熱)

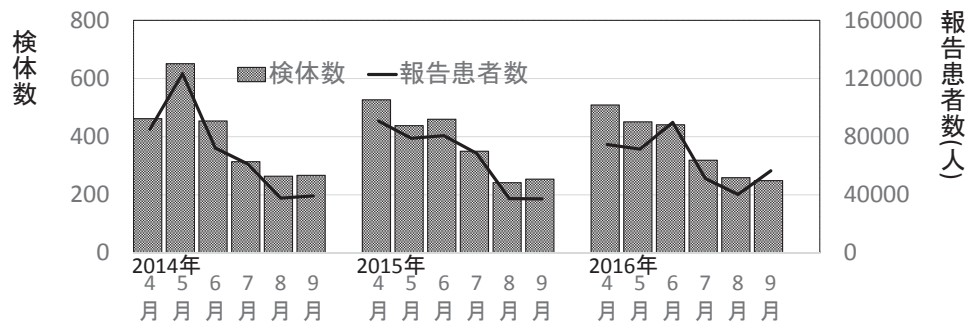


図5-4. 月別検体数と患者報告数(感染性胃腸炎)

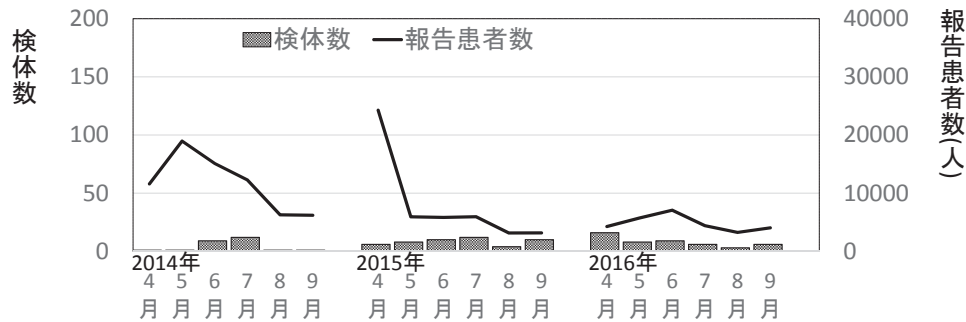


図5-5. 月別検体数と患者報告数(水痘)

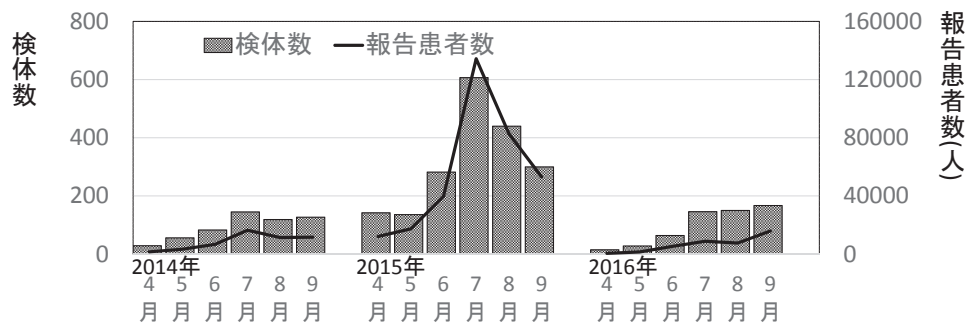


図5-6. 月別検体数と患者報告数(手足口病)

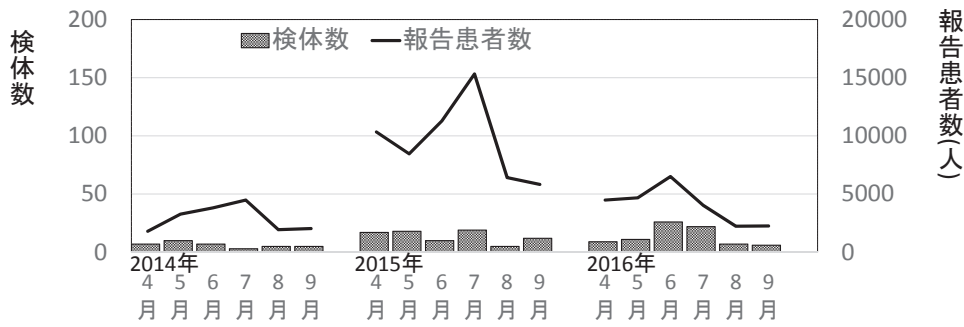


図 5-7. 月別検体数と患者報告数(伝染性紅斑)

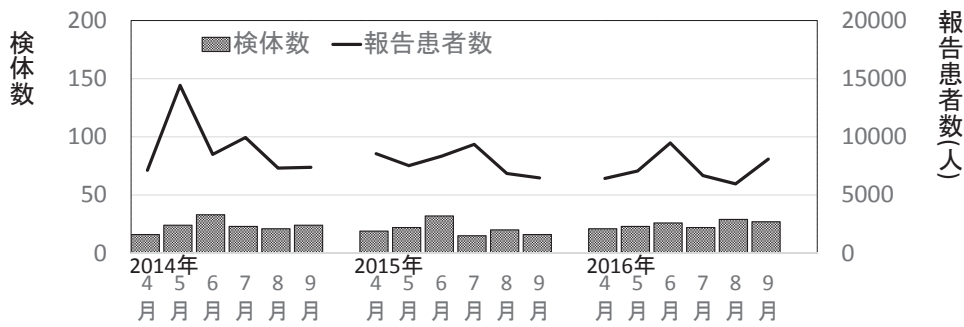


図 5-8. 月別検体数と患者報告数(突発性発しん)

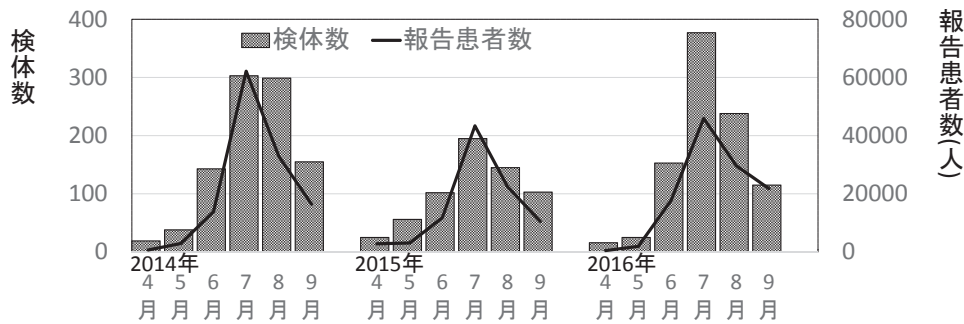


図 5-9. 月別検体数と患者報告数(ヘルパンギーナ)

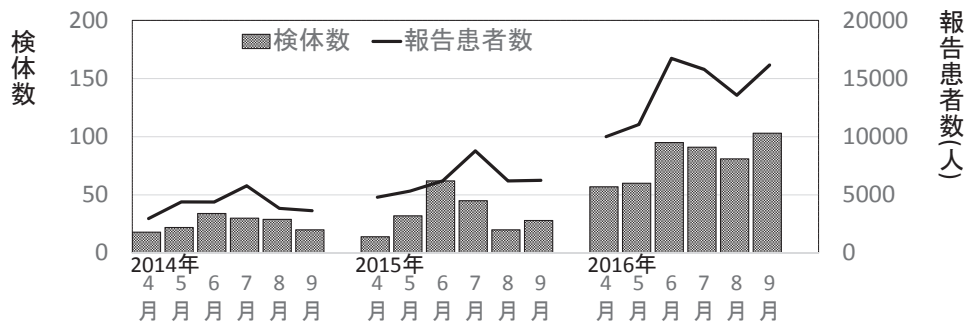


図 5-10. 月別検体数と患者報告数(流行性耳下腺炎)

表2. 年別検体数の比較

対象疾患	年					
	2014 - 2016			2015 - 2016		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少
インフルエンザ	41	11	17	52	9	8
RS ウイルス感染症	27	27	15	27	31	11
咽頭結膜熱	30	22	17	28	21	20
感染性胃腸炎	28	21	20	28	20	21
水痘	18	43	8	6	50	13
手足口病	29	22	18	9	11	49
伝染性紅斑	21	43	5	16	38	15
突発性発しん	18	35	16	14	40	15
ヘルパンギーナ	28	18	23	42	16	11
流行性耳下腺炎	39	25	5	38	24	7

(機関数)

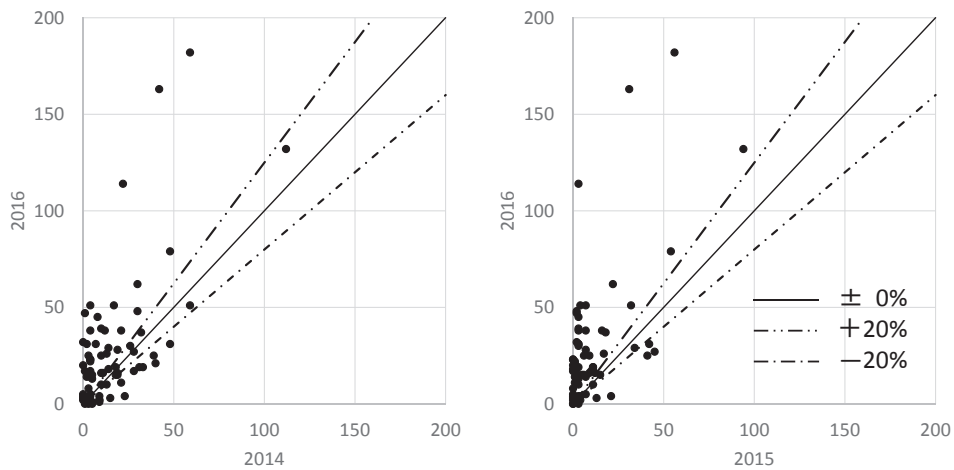


図6. 各年別検体数の比較(インフルエンザ)